

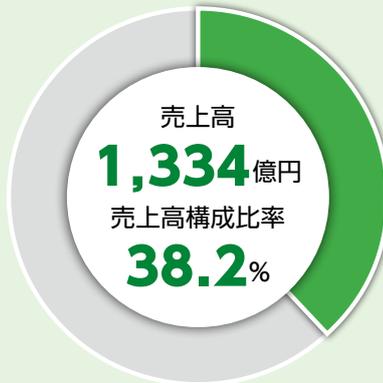


SEGA SAMMY GROUP CSR REPORT 2016

グループ概要

セガサミーグループは、幅広い領域で事業展開する総合エンタテインメント企業グループとして、大人から子どもまであらゆる年代のお客さま、国内、海外のお客さまに創造性溢れるエンタテインメントを提供し続けています。

遊技機事業



主な事業内容

パチスロ遊技機及びパチンコ遊技機の開発・製造・販売

関連グループ企業

サミー、銀座、タイヨーエレクト、日本マルチメディアサービス、ロデオ(その他14社)

エンタテインメントコンテンツ事業



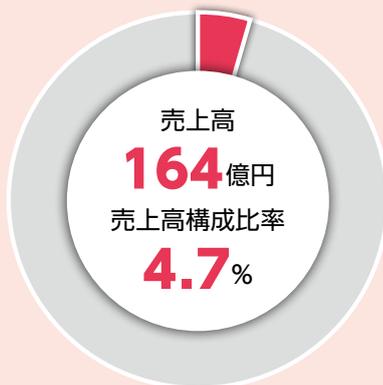
主な事業内容

デジタルゲームを中核にパッケージゲーム、アミューズメント機器における開発・販売、アミューズメント施設の開発・運営やアニメーション映画の企画・制作・販売及び玩具等の開発・製造・販売

関連グループ企業

セガホールディングス、アトラス、サミーネットワークス*、セガ・インタラクティブ、セガ エンタテインメント、セガゲームス、セガトイズ、セガ・ロジスティクスサービス、セガサミークリエイション、ダーツライプ、トムス・エンタテインメント、マーザ・アニメーションプラネット 等(その他20社、海外44社)

リゾート事業



主な事業内容

統合リゾート事業やその他施設事業におけるホテルやテーマパークの開発・運営

関連グループ企業

音遊、セガサミーゴルフエンタテインメント、セガ・ライブクリエイション、フェニックスリゾート 等(その他 海外4社)

2015年度実績

* 内部調整売上高が含まれています。 ※ 2016年4月1日付けでサミーネットワークスは遊技機事業に変更いたしました。

会社概要



SEGA-SAMMY
HOLDINGS

社名 セガサミーホールディングス株式会社
本社所在地 〒105-0021
東京都港区東新橋一丁目9番2号
汐留住友ビル21階
設立 2004年10月1日
資本金 299億円

代表取締役会長兼社長 事業内容 里見 治
総合エンタテインメント企業グループの
持株会社として、グループの経営管理
およびそれに付随する業務
社員数 133名

2016年3月31日現在

CONTENTS

	PAGE
グループ概要・会社概要	1
CONTENTS・編集方針・報告対象範囲・パフォーマンスの推移(連結)	2
事業概要	3
TOP MESSAGE	
セガサミーホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長 里見 治	5
株式会社セガホールディングス 代表取締役社長COO 岡村 秀樹	6
サミー株式会社 代表取締役社長COO 里見 治紀	6
特集1 夢を持った女性が輝ける職場に	7
特集2 アクティブにいきいき楽しく	8
特集3 多様な人財が自立し働ける職場環境づくり	9
特集4 セガサミーグループの復興支援活動	10
マネジメント	11
お客さまとともに	18
お取引先とともに	26
株主・投資家とともに	30
社員とともに	32
社会とともに【環境】	38
社会とともに【社会貢献】	42
第三者意見	46

編集方針

セガサミーグループのCSR活動の取り組みを様々なステークホルダーの皆さまにご報告し、コミュニケーションを図りながら活動と情報開示を充実させていくことを目的として発行しています。セガサミーCSR憲章に定めた5つのステークホルダー(「お客さま」「お取引先」「株主・投資家」「社員」「社会(環境と社会貢献)」)にかかわる活動報告として構成しています。

【参考にしたガイドライン】

GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版(G4) ISO26000(社会的責任に関する手引き)

【発行時期】

2016年9月

(前回発行：2015年9月、次回発行予定：2017年9月)

報告対象範囲

【対象期間】

2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)

一部対象期間外の活動も時期を明示して掲載しています。

【対象組織】

セガサミーホールディングス(株)、(株)セガホールディングス(主な事業グループ会社を含む)、サミー(株)

報告期間である2015年度の活動を報告しています。

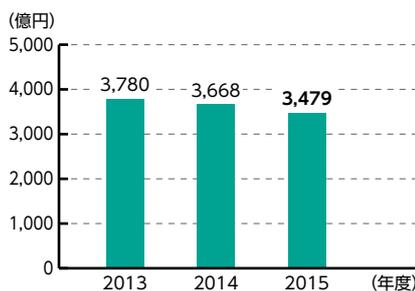
【記述している組織名の定義】(各セグメントの主要企業)

セガサミーホールディングス=セガサミーホールディングス(株)、エンタテインメントコンテンツ事業=(株)セガホールディングス、(株)セガゲームス、(株)セガ・インタラクティブ、遊技機事業=サミー(株)、リゾート事業=(株)セガ・ライブクリエイション、フェニックスリゾート(株)、セガサミーゴルフエンタテインメント(株)

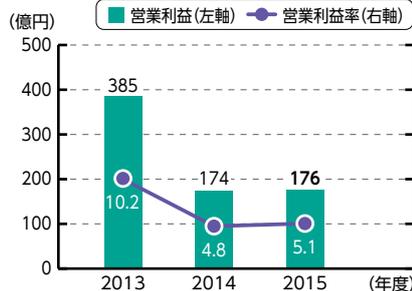
・一部、その他のグループ会社も対象組織に含まれる活動があります。

パフォーマンスの推移(連結)

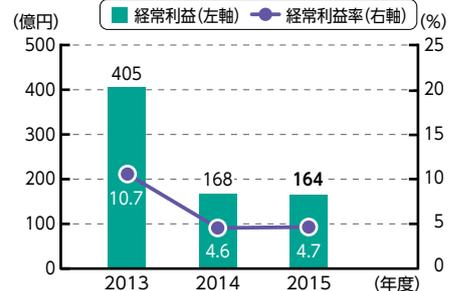
● 売上高



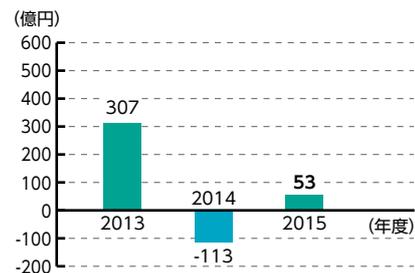
● 営業利益／営業利益率



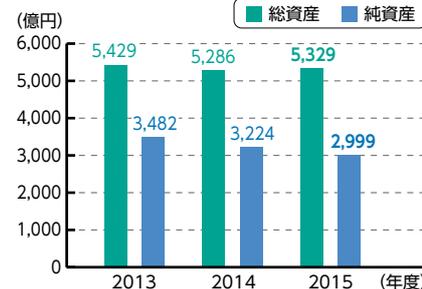
● 経常利益／経常利益率



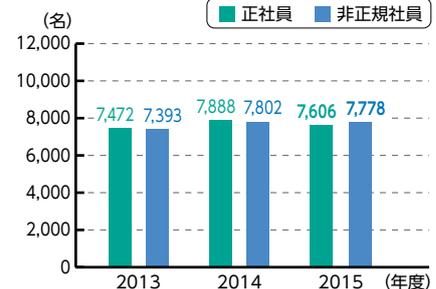
● 親会社株主に帰属する当期純利益



● 総資産／純資産



● 社員数



※ 2015年度より、当社の一部の連結子会社において、製商品販売等の収益認識基準の変更及びデジタルゲーム分野の収益表示の変更を行っており、2014年度の関連する主要な経営指標等について、遡及処理の内容を反映させた数値を記載しています。

世界中の人びとに夢と感動を届ける セガサミーグループの製品・サービス



01 パチンコ

ぱちんこCR神獣王2

01 パチスロ

パチスロ鬼武者3 時空天翔

02 テーマパーク

オアシスパーク

02 アミューズメント機器

DARTSLIVE2

02 アニメーション

それいけアンパンマン おもちゃの星のナンダとルンダ
名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)

02 デジタルコンテンツ

777NEXT
パチスロ北斗の拳 強敵

龍が如く 極

Football Manager 2016

02 アミューズメント機器

パベルのメダルタワー
UFO CATCHER9

03 テーマパーク

東京ジョイポリス

(P.3) ぱちんこCR神獣王2 ©Sammy パチスロ鬼武者3 時空天翔 ©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED. ©Sammy 777NEXT/パチスロ北斗の拳 強敵 ©武論尊・原哲夫/NSP 1983, ©NSP 2007 著作権許諾PGC-405 ©Sammy UFO CATCHER9 ©SEGA パベルのメダルタワー ©SEGA 龍が如く 極 ©SEGA それいけアンパンマン おもちゃの星のナンダとルンダ ©やなせたかし/フレール館・TMS・NTV ©やなせたかし/アンパンマン製作委員会2016 名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア) ©2016 青山剛昌/名探偵コナン製作委員会 DARTSLIVE2 ©DARTSLIVE Co., Ltd. Football Manager 2016 © Sports Interactive Limited 2016. Published by SEGA Publishing Europe Limited. Developed by Sports Interactive Limited. SEGA and the SEGA logo are either registered trademarks or trademarks of SEGA Holdings Co., Ltd. or its affiliates. SEGA is registered in the U.S. Patent and Trademark Office. Football Manager, the Football Manager logo, Sports Interactive logo are either registered trademarks or trademarks of Sports Interactive Limited. All rights reserved. All other company names, brand names and logos are property of their respective owners. (P.4) NEWおいかっこアンパンマン ©やなせたかし/フレール館・TMS・NTV ディズニーキャラクター マジカルボット ©Disney

世界に広がる
リゾート事業

03

韓国



パラダイスシティ

中国



青島ジョイポリス

02

家庭用ゲームと玩具



ディズニーキャラクター
マジカルポッド



NEWおいかっこ
アンパンマン

03

ゴルフ場



ザ・ノースカントリーゴルフクラブ

03

ゴルフ場



フェニックスカントリークラブ

01 遊技機事業

遊技機事業は、パチンコ遊技機事業とパチスロ遊技機事業で構成されています。サミーを中心にマルチブランドを展開し、幅広いファンのニーズに応える製品を供給しています。パチンコ遊技機ではさらなる開発力の強化により、市場におけるプレゼンスの向上を目指し、パチスロ遊技機では市場の活性化に寄与する斬新な遊技性を備えた機械の開発・供給に取り組んでいます。



ぱちんこCR真・北斗無双



パチスロ北斗の拳 強敵

主なグループ会社

サミー、銀座、タイヨーエレクト、日本マルチメディアサービス、ロデオ など

©武論尊・原哲夫 / NSP 1983 版權許諾証K0J-111 1983. ©NSP 2007 版權許諾証YFC-128 ©Sammy ゲームス ©Sammy

02 エンタテインメントコンテンツ事業

アーケード・コンシューマそれぞれの分野で革新的な製品を世に送り出してきたセガの卓越した開発力をデジタルゲーム分野に投入し、デジタルゲーム分野で「グローバルマーケット・トップ3」を目指します。また、ゲームデータをデバイス間で共有する「クロスプラットフォーム」戦略や、家庭用ゲームで培ってきたIP^{*1}のデジタル分野への転用を推進し、コンシューマビジネス全体での収益機会の最大化を図ります。高いシェアを誇るアミューズメント機器・施設においても、マーケットニーズに合致した商品ラインナップ、店舗ポートフォリオの強化を推進していきます。

主なグループ会社

サミーネットワークス^{*2}、セガインタラクティブ、セガエンタテインメント、セガサミークリエイション、セガゲームス、セガイズ、セガホールディングス、セガ・ロジスティクスサービス、トムス・エンタテインメント、ダーツライブ、パタフライ、マーザ・アニメーションプラネット など



モバ7 アラジンA
©Sammy (左)
ぶよぶよ!!クエスト
©SEGA (右)

*1 IP: Intellectual Property、キャラクターなどの知的財産。

*2 2016年4月1日付けでサミーネットワークスは遊技機事業へ変更しました。



ビュッフェダイニング
KidsBee



セガ池袋GIGO



Exciting Baccarat
©SEGA SAMMY CREATION INC.

03 リゾート事業

宮崎県にある日本有数の複合リゾート施設であるフェニックス・シーガイア・リゾートのグループ化をはじめ、2017年の開業を予定する韓国初の統合型リゾート(IR)施設『パラダイスシティ』のプロジェクトを通じて、ホテル、エンタテインメント施設、商業施設、カジノオペレーションなどの開発、運営におけるあらゆるノウハウを蓄積しています。また、『ジョイポリス』、『オービー』といったテーマパークなど、グループが保有する最先端技術や豊富な経験を活用し、セガサミーグループらしいエンタテインメント性溢れるリゾートの開発・運営に取り組んでいます。



フェニックス・シーガイア・リゾート



オービー横浜

主なグループ会社

セガ・ライブクリエイション、セガサミーゴルフエンタテインメント、フェニックスリゾート、セガサミー釜山、パラダイスセガサミー など

夢と希望溢れるエンタテインメントを通じて セガサミーならではの価値を社会に提供し続けます。



セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長

里見 治

エンタテインメントを通じて社会的価値を創造

セガサミーグループは、「私たちは、世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。」という経営理念を掲げています。

エンタテインメントを知り尽くし、世界中のあらゆる人びとに楽しさや喜び、夢や感動をお届けする。それがセガサミーグループの存在意義であり、存在価値だと考えています。この理念が、成長と挑戦を続けるセガサミーグループの根幹をなすものであり、一人ひとりが本業を通じて理念を実践し、社会的価値を創造することこそが、私たちのCSRだと考えています。

常に「革新者」であるために構造改革に挑戦

セガサミーグループは、「業界初」「世界初」の革新的なエンタテインメントを世に送り出してきました。社会の変化に伴って遊びが多様化している中、社会の期待を超える価値を提供し続けるには、これからも常に「革新者」であり続けなければなりません。その実現のために、強い決意を持って事業の構造改革に取り組んでいます。遊技機事業、エンタテインメントコンテンツ事業、リゾート事業を総合エンタテインメント企業の中核事業として、シナジーを発揮しながらさらなる強化を図ると

ともに、デジタルゲーム分野などの成長領域や統合型リゾート事業の育成に経営資源を集中できる体制を整え、中長期的な成長を実現していきます。今後も全世界をターゲットとして、あらゆる世代に良質なエンタテインメントを提供し、すべての事業分野でプレゼンスを確立し、世界No.1の総合エンタテインメント企業になることを目指して突き進んでいきます。

人財こそがセガサミーグループの成長の源泉

セガサミーグループは、様々な知的財産を創出してきました。それらは、長きにわたりエンタテインメントバリューを生み出し続ける貴重な財産です。新たな知的財産を生み出すのは人財であり、その価値を最大化するのにもまた人財です。セガサミーグループは、明日のエンタテインメントを生み出すアイデアに満ち溢れ、創造性とチャレンジ精神に富む人財をグループの持続的な発展を支える最も重要な経営資源と位置づけ、その人財が誇りを持って働ける企業を目指します。多様な個性を持つ人財を採用・登用して適材適所に配置するとともに、変化に柔軟かつ迅速に対応できる人財の教育制度を充実させ、能力を最大限に発揮できる環境の整備に努めていきます。今後も、コーポレート・ガバナンスやコンプライアンスの体制など、健全な企業経営の基盤をより一層強固にしながら、自由闊達で創造性の高い企業風土づくりに邁進していきます。

社会とともに持続的成長の実現を目指す

人びとや社会が大きな困難に直面した時、それらを乗り越えていくのに必要なのは、未来への夢や希望を持ち続ける人びとの心にほかなりません。エンタテインメントには、その夢や希望を生み出す力があります。セガサミーグループは、エンタテインメントを通じて自然災害の被災地などに笑顔や元気をお届けするイベントを継続して開催しています。このようなセガサミーグループならではの形で社会に貢献していくことも、CSRにつながっていくと考えています。セガサミーグループの成長は、ステークホルダーの皆さまとのかかわりの中で成り立っており、その絆はグローバルに広がっています。セガサミーグループだからできる活動の継続的实践を下支えする国際的な倫理観や価値観への同意を表明する意味を込めて、2014年4月に国連グローバル・コンパクトに署名いたしました。国際社会の持続可能な発展のためにも、企業としての責任と役割を果たしていきます。未来の社会に思いを馳せるとき、私たちの胸に飛来するのはエンタテインメントを生み出していくことへの誇りです。セガサミーグループは今後も、人びとの日々の生活に潤いや充足感、明日への活力といった価値を創造し続け、夢と希望に満ち溢れた社会づくりに貢献してまいります。

革新者として 感動体験と価値を創造し続けます。



株式会社セガホールディングス
代表取締役社長COO

岡村 秀樹

企業のCSRの根幹は、日々の企業活動を通して利益を生み出し、それらを社会やステークホルダーの皆さまにしっかりと還元していくことにあります。セガグループが昨年2015年4月に実施した事業再編から1年が経過しましたが、グループ全体の収益性は着実に改善してきており、収益構造の筋肉質化が進んでいる手ごたえを感じています。今後も企業活動を通じて社会的な価値がより高められるように構造改革を推し進め、グループとして成長を続けるよう取り組んでまいります。

またセガグループとしての視点に立つCSRは、夢や感動に溢れるエンタテインメントを提供することにより、豊かな社会を実現していくことです。我々セガグループはこれまで多くのエンタテインメントを提供してきましたが、昨年の事業再編時には「Be a Game Changer ～革新者たれ～」をグループ共通のありたい姿(ビジョン)として掲げました。柔軟で斬新な発想や高い技術力をもとに創り出す、多彩なエンタテインメントを通じて、お客さまに感動を体験していただくとともに、「革新者」として世の中のライフスタイルに影響を与えられる存在であり続けたいと考えています。今後もオンリーワンのエンタテインメントを世界中の皆さまへお届けすることに挑戦してまいります。

「積極進取」を力の源泉とし、感動体験を創造し続けます。

2016年4月に代表取締役社長COOに就任しました。サミーを社会から必要とされる会社、社員が誇りを持って働ける会社にするのが私の使命と考え、全力を尽くしてまいります。

この度、2020年3月期を見据えた構造改革プランを作成し、ミッション・ピラミッドという考え方を導入いたしました。これはミッション、ビジョン、ゴール、戦略、組織、戦術で構成される戦略ピラミッドです。設立時からの「社は：積極進取」が強く根付いておりましたが、これはサミーの不変であり続ける考え方とし「社は：価値観＝積極進取」と決めました。その上で、私たちの存在意義として「ミッション」を「感動体験を創造し続ける」とし、「ビジョン」は将来ありたい姿、「業界の革新者たれ ～新しいものはサミーから～」と明確にしました。「ゴール」は副社長就任時に掲げた「営業利益率30%以上の達成：G30」とし、それを実行していくための大方針である「戦略」を明確にし、そして戦略を実行するための「組織」を形成し、一番下に具体的な打ち手である「戦術」を項目ごとに細かく設定しております。全社的な方針や施策を細分化して一人ひとりが実践することが、サミーの持続的成長を可能にするのです。

社員が、先見性や独自性から生まれる自由な発想と旺盛な好奇心を持ち、日々の仕事で感動体験をすることで、ファンの皆さまにも感動体験をお届けすることができます。これからも一丸となって、既成概念にとらわれることなくチャレンジし続け、「業界の革新者」として、皆さまの期待を超える最高のエンタテインメントをお届けしていきます。業界のみならず社会全体の持続的発展に貢献するため、サミーならではの価値を社会に提供し続けてまいります。



サミー株式会社
代表取締役社長COO

里見 治紀

夢を持った女性が輝ける職場に

女性の活躍推進は、企業はもちろん、社会的にも大きな課題となっています。
今回は、セガサミーグループで活躍する3名の女性たちが、仕事のやりがいや課題、そして将来の夢を語り合いました。

「創る」やりがい：

エンタテインメント業界ならではの

田中 長年好きなアニメのイベントを提案して実現させ、小さい頃からの夢が叶えられたのはこの業界ならではの醍醐味。「田中さんみたいに私も好きなアニメのイベントを企画してみたい」と後輩のお手本になれたことも大きな喜びです。

巻口 自社ブランドの『名探偵コナン』20周年記念プレートバッグでは、何をつくるかということから任せていただき、販売ルートも考えました。驚くほど予約があり、仕事の励みとなっています。

高橋 仕事は業界に特化したものではありませんが、「エンタテインメント業界の会社」を意識して制度を整備するよう心がけています。社員にも会社にもメリットがあるようバランスを取るのには難しいですが、良くなったという声を聞けるととても嬉しく思います。

「女性」という個性を活かした

価値提供ができる職場

田中 女性のイメージが薄いゲームセ

ンターですが「セガ池袋GiGO」のお客さまは約7割が女性ということもあり、フロアの作り方などに女性の気配りが活かされています。

高橋 「女性だから」よりも「女性でも」いろいろなことにチャレンジできる職場です。部内の横断プロジェクトでは、チームの仕事を越えて自社ビルリニューアル工事の調整、手配なども行っています。

巻口 女性が使いやすいものは女性しか分かりません。バッグの制作では、私が本当に使いやすいと思うものを追求することができました。

仕事を続けるには 家庭との調和が大切

巻口 私の職場は女性がすごく働きやすい環境です。特に営業職はバリバリ働く女性の姿が目立ちます。育休後の復職も柔軟に対応してもらるので、今後も働くお母さんは増えると思います。

田中 「セガ池袋GiGO」は土日も営業しているアミューズメント施設とい

うこともあり、子どもを持つと難しいこともあります。ここで働き続けたいですし、従業員の約7割は女性なので、今後柔軟な働き方を導入していきたいです。

高橋 私の職場でも出産後の復職率は高いと思います。周囲の方々の理解があると感じられるため、私も子どもができて仕事も続けていけると思います。

今後、仕事で目指すものとは

田中 自分が好きなアニメやゲームをもっと盛り上げ、皆から目標とされる女性に成長したいと思います。

高橋 自分の目の前にある仕事以外にも興味を持ち視野を広げて、バランス感覚をさらに養っていきたいと思います。

巻口 トムス・エンタテインメント発信でコンテンツからつくり上げるのが夢です。人に夢や希望をお届けするコンテンツをつくり、そこから商品やイベントが生まれ、世界観が広がるような業務に携わりたいと思います。

セガサミーグループでは
頑張る女性を
応援しています



株式会社セガホールディングス
コーポレート本部 総務部
高橋 由佳

事業全般のリスク管理を担当。昨年結婚し、現在は夫と二人暮らし。



株式会社セガ エンタテインメント
都市営業部
田中 綾

アミューズメント施設「セガ池袋GiGO」勤務。イベントの企画などを担当。



株式会社トムス・エンタテインメント
事業本部 コンテンツビジネス部
巻口 容子

アニメの商品の企画制作や販売を担当。夫と幼い息子の三人家族。



アクティブにいきいき楽しく



約10年後の日本。人口の4人に1人が70歳以上という超高齢化社会になると予想されています。
 たくさんのシニアの方々に、より健康で、アクティブに人生を楽しんでほしい。
 エンタテインメント企業として、シニアの未来を応援しています。

一人でも多くのシニアに趣味活動の楽しさを提供したい！

シニアの方々が豊かな人生を送るためには、趣味を楽しむことが大切です。特に、定年まで仕事一筋だったシニアの方にとって、地域や仲間とのつながりをつくるのが課題となっています。エンタテインメントとデジタルの会社であるセガとして、この課題の解決に貢献したいとずっと考えていました。調べていくうちに、シニア層の8割以上がPCを持っており、デジタルに抵抗が無いことが分かったため、シニア層の趣味活動を応援するWEBサイト「シュミカツ!」を立ち上げました。

「シュミカツ!」では、シニア層に人気の高い、旅・健康・園芸・グルメ・鑑賞・学びの6ジャンルを取り上げています。サービスは二つの柱で構成しています。一つめの「情報ポータルページ」では、6ジャンルを代表する企業・団体と連携し、信頼のおける分かりやすい情報を提供しています。シニアの方々が行動を起こしやすいように「この趣味を始めるには、まず何をしたら良いか」が分かるようにしました。二つめの「シュミログ(趣味録)」機能では、趣味の活動を記録に残すことで充実感を持続させることができます。趣味を楽しむ気持ちさがさらに高まるようにして、二つのサービスで好循環が生まれるようにしています。

シニアの方々に毎日使ってもらえるように、セガらしい楽しい工夫を凝らして、「『シュミカツ!』で元気になった」という声を増やしていきたいと思っています。これからもシニアがいきいきとアクティブな時間を過ごせるようお手伝いしていきます。

「シュミカツ!」でシニアを元気に!

「シニアといえばセガ」を目指します!



株式会社セガゲームス
 セガネットワークス カンパニー 経営企画本部
 倉辻 俊幸(左) / 植中 浩介(右)



「シュミカツ!」は、信頼できる趣味の情報が手に入り、趣味の記録が残せるWEBサイトです。



サイト開設日: 2016年3月30日(水)
 サイトURL: <https://segask.jp>

主な機能
 趣味に関する最新情報・記事を集めた「情報ポータルページ」、趣味活動の記録ができる「シュミログ(趣味録)」機能、ポイント機能、イベント参加機能 など

提携企業・団体
 株式会社JTBパブリッシング、セントラルスポーツ株式会社、一般社団法人日本ウオーキング協会、株式会社サカタのタネ、株式会社ぐるなび

運営会社
 株式会社セガゲームス

多様な人材が自立し働ける 職場環境づくり



2015年10月1日、障がいのある方の雇用促進を目的にセガサミービジネスサポート株式会社を設立、同年12月に特例子会社の認定を受けました。障がいを持つ社員の個性に配慮した安心・安全な職場環境を提供し、個々がいきいきと、能力を発揮できる職場づくりを目指していきます。



仕事を通じて知識や経験が増え、
日々やりがいを感じています。



セガサミービジネスサポート株式会社
宮崎事業所
谷口 佳子

フェニックス・シーガイア・リゾートのホテルで使われるシーツやクロスを洗濯機に入れたリタオルを機械で畳む仕上げ作業に携わっています。薄いクロスは表裏の見分けが難しいので、ときどき表と裏を間違えて畳んでしまうこともあります。週末と一緒に食事に出かけたりして交流を深めている社員同士で仲良く仕事をしており、これからはいろいろな料理がつかれるようになりたいです。また、苦手な計算の勉強もしていきたいと思います。

シーツやクロスを広げて機械に入れる作業とタオル畳みのほか、アイロンやプレス作業の手伝いもしています。業務を通じてボタンの付け方など今まで経験したことのないことも学ぶことができます。入所している「あすなるの里」では旅行や忘年会があり、普段一緒に仕事をする障がい者同士の交流があります。食べるのが好きなので、毎日の昼食が楽しみです。今後もいろいろな場所で、美味しいものを食べて回りたいです。



セガサミービジネスサポート株式会社
宮崎事業所
松浦 克俊

社外の声

「地域の中で自立したい」を応援します。

私たち、「あすなるの里」は1983年に開設してから、知的障がい者の自立と社会参加を支援する取り組みを続けています。セガサミービジネスサポート株式会社様と当施設は、同じ地域という立地の良さを活かして、以前から雇用や職場実習の受け入れなど、密な連携を取らせていただいています。現在、同社で就労する当グループホームご利用者の7名は全員10年以上のベテランです。同社が障がい者雇用に積極的に取り組んでいただくとともに、障がい者が安定して働きやすい職場環境を築いていただいたことに心から感謝しています。「就職して地域の中で自立した生活を送りたい」という障がい者の方々の持つ夢の実現のために、今後もご協力をお願いします。



社会福祉法人巴会
あすなるの里 園長
石坂 裕一氏

- 会社名 セガサミービジネスサポート株式会社
- 所在地 〈本社〉東京都港区東新橋一丁目9番2号汐留住友ビル21階 〈宮崎事業所〉宮崎県宮崎市大字塩路字江良ノ上2779-21
- 設立年月日 2015年10月1日(特例子会社認定日 2015年12月18日)
- 資本金 50百万円(セガサミーホールディングス(株)100%出資)
- 主な事業 クリーニング事業
- 従業員 29名(内、重度知的障がい者11名、軽度身体障がい者5名。2016年3月31日現在)



笑顔、元気を届ける

セガサミーグループの 復興支援活動

セガサミーグループでは、2011年3月11日の東日本大震災発生直後から、被災地の支援ニーズにより、様々な支援活動を展開してきました。緊急期～復旧期～復興期と、そのステージにより必要とされることも変化していく中で、今後も真の復興に向け、社員とともに「笑顔、元気を届ける」活動を継続していきます。

被災地応援イベント

被災地にエンタテインメントを通じて「笑顔、元気を届ける」をテーマに、2011年から応援イベントを実施。2015年度は「東松島夏まつり」、「南三陸町スポーツフェス」、「東松島市クリスマス会」、「七ヶ浜町生涯学習フェスティバル」、「飯舘村ふれあい集会」などに、「UFOキャッチャー」、「ネイルアプリ」、「え〜でる すなば」、「キッズメダルゲーム」、「ダーツ」、「パンダコパンダ」、「フラッシュパッド」、そして「スマートボール」などのリソースを活用し、社員とともに参加しました。また、飯舘村では、地元の中学野球部の生徒を対象に、元東京ヤクルトスワローズの宮本慎也氏にご協力いただき、「セガサミーグループ野球教室」を開催。



児童関連施設(幼稚園・保育所など)訪問・寄贈

東北の被災地の児童関連施設16ヶ所を、パパンダ(着ぐるみ)が訪問。子どもたちと交流するとともに、『パンダコパンダ』グッズ(キッズソファ、クッション、キーボード、声が出る絵本)を寄贈しました。



活動アラカルト

(2011年3月～2016年3月まで)
⇒2016年度活動継続

● 支援金 約**4**億円

● 社員ボランティア活動
回数 参加人数
計**42**回 のべ**465**名

● 施設(東京ジョイポリス)招待
回数 招待者数
計**24**回 のべ**625**名

● 応援イベント
回数 来場者数
計**26**回 のべ**8,760**名
(セガサミーグループ単独開催分のみ)

グループ社員ボランティア活動

2011年6月から活動を開始し、2015年度は、宮城県七ヶ浜町、東松島市、南三陸町を3回訪れ、ビーチクリーン、漁業支援、仮設住宅支援(集いの場である「お茶っこ会」の開催、清掃など)、花壇造作など、有志社員とともに継続的に活動を行っています。第1回よりのべ465名が参加。



2016年度新入社員研修

グループ新入社員研修の一環として2013年度から実施しています。2016年度も、4月20日～22日(2泊3日)まで、87名の新入社員が、被災地(宮城県石巻市、女川町、南三陸町、東松島市)を訪れ、視察、講話、ビーチクリーン、被災地の復興へ向けたグループワーク、花壇造作などの支援活動に参加しました。



TOPICS 熊本地震で被災された方々への支援

2016年4月14日に発生した熊本県熊本地方を震源とする地震において、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。リゾート事業のフェニックスリゾートでは震災直後から益城町をはじめとした各避難所へ出向き、救済物資の提供や炊き出しを実施しています。また、セガサミーグループ各社有志社員による現地でのボランティア活動に加え、子ども向けイベントへの協力も行いました。



※ 詳細並びにその他の支援についてはセガサミーホールディングスHPをご参照ください。

http://www.segasammy.co.jp/japanese/pdf/release/release_160421.pdf

参加者VOICE



サミー株式会社
生産統括本部 製造本部
製造部
初芝 隼

今回の新入社員研修を通じて、復興に向けてまだまだやるべきことがたくさんあり、震災を風化させないためにも、後世に語り継いでいくことが大切だと学びました。また現地の方々は、復興への意志を非常に強く持っていると感じました。この研修では、セガサミーグループの復興支援活動が持つ影響力の大きさを肌で感じる事ができ、今後の復興に向けてより良い活動ができるように、参加者全員が本気で「支援したい」と感じて活動できる環境づくりをしていければと思います。

その他のVOICEはこちら!

<http://www.segasammy.co.jp/japanese/etc/action/>

社外VOICE



宮城県 七ヶ浜町 町長
寺澤 薫氏

震災から5年が経過し、社員の皆さまにガレキを取り除いていただいた田んぼには青々とした稲穂が育つ風景が蘇り、菖蒲田海水浴場は海水浴客をお迎えできるまでになりました。また、生涯学習フェスティバルやクリスマスイベントなど、震災で傷ついた子どもたちを勇気づける様々なイベントを展開していただき、心から感謝しています。本町の復興は未だ道半ばではありますが、今後ともご協力をお願い申し上げます。

マネジメント

セガサミーグループの経営理念体系

セガサミーグループは、オリジナリティ溢れるエンタテインメントを通じて夢と感動をご提供するという考えのもと、国際社会の一員であることを強く意識し、様々なステークホルダーとコミュニケーションを図りながら、「良き企業市民」として社会からの倫理的・公共的な期待に応え、社会の持続可能な発展に寄与する価値を提供していくことに取り組んでいます。また、事業活動に留まらず、芸術・スポーツなどの文化の発展支援など、グループ全体で様々な社会活動を継続的に実施していくことにより、社会との信頼関係を築き、「豊かな社会の実現」と「文化の創造」を目指します。

グループ経営理念

私たちは、世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。

グループCSR憲章



<http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/>

社会に生き続ける「企業市民」として、CSRの精神に鑑み、すべての法令・社会規範を遵守し、ステークホルダーとのより良い関係を築くことで、健全な経営の実現と社会的な責任を果たせるものと考えます。

グループ行動規範



http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_csr.html

「グループCSR憲章」に基づく、社員の具体的な行動指針

「グループCSR憲章」に基づく、社員の具体的な行動指針を、前文「基本事項」のほかステークホルダーごとに「安心・安全・高品質」、「公正な関係」、「透明性の高い経営」、「職場環境の整備」、「社会への貢献」、「地球環境」など基本的な行動規範を定めたものです。

グループ・マネジメントポリシー



http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy.html

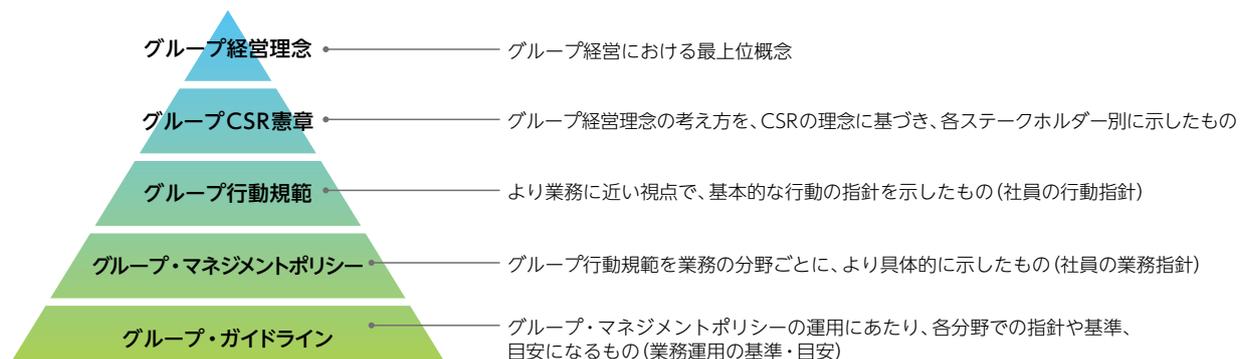
- 人財に関する方針
- 労働安全衛生に関する方針
- リスクマネジメントに関する方針
- 情報管理に関する方針
- ITセキュリティに関する方針
- 個人情報保護に関する方針
- IR・広報に関する方針
- 環境に関する方針
- 海外贈収贈禁止に関する方針

2015年3月に、中国語版および韓国語版を社内イントラネットに掲載しました。海外子会社並びに協力会社との連携を強化することで、当社グループのCSR活動をグローバルに深化させていきます。

グループ・ガイドライン

- 危機管理ガイドライン
- SNS利用ガイドライン
- ITセキュリティガイドライン
- 海外贈収贈禁止に関するガイドライン
- クラウドサービス利用ガイドライン

● グループ経営理念体系



<http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/>

セガサミーグループのCSR

セガサミーグループは、CSR活動を当社グループの持続的価値創造と社会の持続的発展の双方を実現するための重要な活動と捉えています。

グループCSR取り組みテーマ

2012年に、グループで取り組むCSRの取り組みテーマとして、「事業を通じた貢献」、「社会貢献」、「環境対応」、「コーポレート・ガバナンス／経済的責任」の4つを設定しました。セガサミーホールディングスの取締役会で承認されたこの4テーマについて、事業会社ごとに進捗管理を行っています。また、これまでのグループの活動を再認識し、社員へのさらなるCSRマインドの浸透と、グループ全体におけるCSR活動をどのように推進してゆかかを表す「CSR推進方針」を提示しています。



CSR推進方針
<http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/tpm.html>

ステークホルダーとのかかわり

セガサミーグループの事業活動は、5つのステークホルダー（「お客さま」、「お取引先」、「株主・投資家」、「社員」、「社会（環境と社会貢献）」）とのかかわりの中で成り立っています。ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、信頼関係を深めながら、ご意見やニーズを事業活動に反映することに努めています。

ステークホルダー	主なコミュニケーション機会	主な責任
お客さま	営業活動 / サポート窓口 / 店舗・施設での接客	安心・安全かつ高品質な製品・サービスの提供
お取引先	調達活動 / 説明会 / サプライヤーミーティング / 相談窓口	公平・公正な取引 / 連携強化 / お取引先へのCSRの要請
株主・投資家	各種報告書の発行 / WEBサイト / IR活動	情報開示 / 経営の安定と成長 / 適正な利益還元
社員	社内イントラ / 相談窓口 / 満足度調査 / 労使協議会	職場環境整備 / 公正な評価と成長機会 / 人権と多様性の尊重
社会	WEBサイト / 地域との交流 / 社会貢献活動	本業の繁栄 / 環境経営 / 社会との連携 / 社会貢献活動

「国連グローバル・コンパクト」への参画

セガサミーグループは、2014年4月、「国連グローバル・コンパクト」(以下、UNGC)への支持を表明しました。UNGCとは「各企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会のよき一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組み」です。私たちはUNGCが掲げる10原則に基づき責任ある経営を推進することによって、持続可能な社会づくりに貢献していきます。また、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン内に組織されている、SRI/ESG、サプライチェーン、腐敗防止、レポート研究分科会等の活動に参加し、他社との情報共有を行いながら、課題解決に向けて積極的に取り組んでいます。

● 「国連グローバル・コンパクト」と当社グループCSRレポートの対照表

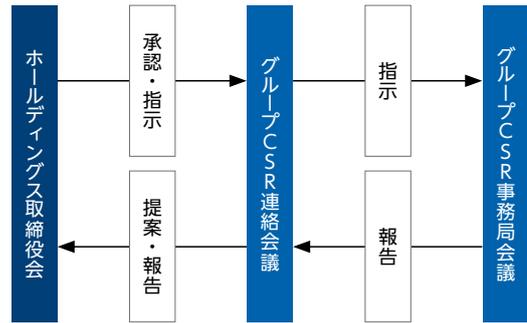
「国連グローバル・コンパクト」項目と10原則		関連ページ	当社グループCSRレポート記載内容
人権	原則1：人権擁護の支持と尊重	P.11-14 P.27 P.33	グループ経営理念体系、CSR お取引先とともに：公平・公正な取引 社員とともに：人権の尊重
	原則2：人権侵害への非加担		
労働	原則3：結社の自由と団体交渉の承認	P.11-14 P.27-29 P.33-36	グループ経営理念体系、CSR お取引先とともに：公平・公正な取引 社員とともに：人権の尊重、人財育成・評価、多様性推進、労使関係
	原則4：強制労働の排除		
	原則5：児童労働の実効的な廃止		
	原則6：雇用と職業の差別撤廃		
環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ	P.11-14 P.38-39	グループ経営理念体系、CSR 環境経営の推進、各段階における取り組み、その他の環境保全活動
	原則8：環境に対する責任のイニシアティブ		
	原則9：環境にやさしい技術の開発と普及		
腐敗防止	原則10：強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み	P.11-14 P.16-17 P.26-29	グループ経営理念体系、CSR コンプライアンス お取引先とともに：公平・公正な取引

CSR推進体制

セガサミーホールディングスにグループCSR推進室を設け、グループのCSR活動を統括・管理しています。

グループでの活動推進のため、「グループCSR連絡会議」を設置しています。セガサミーホールディングスのCSR管掌役員兼CSR推進室長が議長を務めセガとサミーのCSR管掌役員が参加し、CSRマネジメントの連携を図っています。さらに、ホールディングスのCSR推進室長を議長としグループ会社のCSR担当者が参加する「グループCSR事務局会議」を設けています。CSR活動に関する施策の検討・実施・評価（PDCAサイクル）などを行うため、原則として年に1回開催しています。2015年度は、グループ横断のCSR活動である「東日本大震災復興支援ボランティア並びに応援イベント」や「絵本を届ける運動」、「社会から要請される非財務情報開示」、「セガサミーグループらしいCSRレポート」、「グループCSR研修」などについて討議し、情報と知識の共有を図りました。

● セガサミーグループCSR推進体制図



CSR推進活動

意識の醸成

セガサミーグループでは、社員一人ひとりがCSR憲章を理解し、その精神に基づいたグループ行動規範に沿って行動してこそ、当社グループが掲げる「グループ経営理念」を実現できると考えています。セガサミーホールディングスのグループCSR推進室では、グループすべての社員を対象にCSR活動の重要性や取り組む意義を伝えながら、それぞれの理解度に合わせた各種研修をはじめとした浸透策を企画し、実行しています。

事業所に掲示しているCSRポスター



CSR研修

2013年10月から、グループ企業のマネジメント層並びに一般層向けCSR研修を実施しています（のべ12社、36回、1,056名受講）。外部講師による講義やグループワークを通じて、社会や事業環境の変化を考え、「社会と企業の共生」や「企業の持続的成長・発展」についての理解と参加者同士のコミュニケーションを深めました。終了時には、受講者全員が「CSR推進宣言」を提出し、セガサミーグループの一員としての存在意義を再確認する機会を設けました。今後も「社会から期待され、信頼され、尊敬される企業、そして社員が誇れるグループ企業になるためにやるべきこと」を社員一人ひとりが意識して行動できるように、研修を継続していきます。



CSR研修のグループワーク

セガサミーホールディングス会長とグループ社員の意見交換会

各現場の活動成果や課題などを共有し、今後のCSR活動の方向性について議論することを目的に、セガサミーホールディングス会長とグループ社員の意見交換会を年に1回実施しています。グループ各社のCSR推進担当者や、各社が注力するプロジェクトや人事の責任者などが参加し、活発な意見交換が行われます。経営トップと、日常業務では接する機会が無い部門や社員同士が一つのテーブルを囲むことで、グループ間コミュニケーションの活性化に大いに役立っています。2016年度は6社、6名が参加しました。



経営トップとグループ社員が事業やCSRについて語り合う意見交換会

【意見交換会参加者】

- サミー(株) 技術研究開発本部 第二技術開発部 斉藤 健二
- (株)セガ エンタテインメント セガ池袋GiGO 戸田 健一
- (株)セガゲームス セガネットワークスカンパニー シュミカツ!事業ユニット 倉辻 俊幸

- (株)セガ・ライブクリエイション 東京ジョイポリス 内藤 康之
- (株)セガトイズ 取締役 宮崎 奈緒子
- (株)テレコム・アニメーションフィルム 代表取締役社長 浄園 祐

2015年度の目標と進捗・実績 / 2016年度の課題

グループが掲げる4つの取り組みテーマ「事業を通じた貢献」、「社会貢献」、「環境対応」、「コーポレート・ガバナンス／経済的責任」に対し、毎年度の課題設定と活動の進捗・実績の管理を行っています。

● セガサミーグループ「4つの取り組みテーマ」の主な課題と活動実績

取り組みテーマ	2015年度の課題	進捗・実績	主な掲載ページ	2016年度の課題及び改善のポイント
事業を通じた貢献	製品やサービスの安心・安全の提供、並びに適正な情報開示の継続	・対象各国の法令、業界基準等に則し、それを上回る自主基準の設置、製品表示などによる情報開示を含む品質保証【E、遊、セガトイズ】 ・青少年保護対策【SE】	P.19-24	安心・安全で楽しい製品・サービスの提供
	サポート体制のさらなる充実	・お客さまサポート体制の充実【E、遊、セガトイズ】		
	正確で適切な製品表示の推進	・正確で適切な製品表示【E、遊、セガトイズ】		
	業界団体標準等に準拠した安全基準の遵守の継続	・業界団体の基準等に準拠した安全基準【E、遊、セガトイズ】 ・業界団体を通じた適度な遊技環境の推進【遊、SE】	P.22-25	
	不正防止対策の継続	・不正防止【遊】		
社会貢献	グループコンテンツを活かした社会課題解決への貢献	・シヨールームを定期的な高齢者へ開放(12回、67名)【遊】 ・NPOとの協働で玩具を寄贈【SSHD、セガトイズ】 ・共遊玩具の開発・製造・販売【セガトイズ】	P.10、25、44	対象拡大などの推進
	復興支援の継続と新たなステージへの対応	・グループ社員ボランティアを被災地へ派遣(4回、39名)【グループ】 ・グループ新入社員研修の一環として被災地へ派遣(12社、87名)【グループ】 ・コンテンツを活かした被災地復興支援応援イベントを開催(6回)【SSHD、E、遊、セガトイズ、TMS、SE、SLS、ダーツライブ】 ・有志社員による熊本地震被災地での炊き出し、ボランティア活動、イベント協力【PSR、グループ】	P.10	
	グループシナジーを活かした社会貢献の実行	・「TOKYO JAZZ」など芸術活動への協賛【SSHD】 ・「絵本を届ける運動」(220冊)(発展途上国のエンタテインメント環境整備)【グループ】 ・「ジュニアスポーツフェスティバル」並びに野球教室の開催【SSHD】	P.44-45	
社会貢献	事業の延長線上での社会貢献の実行	・野球部による野球教室の開催【SSHD】 ・NPOとの協働で玩具を寄贈【SSHD、セガトイズ、TMS】 ・地域の幼稚園などへ玩具の寄贈【TMS】 ・野球部による地域の養護施設訪問【SSHD】 ・地域スポーツ活動への協賛【SSHD、遊】 ・地域祭りへの協賛・参加【E、遊、SLS】	P.43	地域社会へのさらなる貢献活動、業界活動など
	環境施策の推進	・グリーン電力証書の購入(100万kWh実績/年)【SHD】 ・横浜市風力発電事業「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」への協賛(グリーン電力証書2015年実績:79,152kWh)【SHD】 ・主要グループ会社16社の環境負荷数値把握体制の整備【SSHD】 ・森林里親契約「セガの森」整備によるCO ₂ 吸収量が長野県から評価【SHD】 ・シーガイア敷地内の黒松(250万㎡)の管理・保護・育成【PSR】	P.40-41	
	環境配慮型製品開発・販売の推進	・低消費電力製品の開発・提供点数の増加【E】 ・エコパチンコの開発、製品化への展開【遊】	P.39	
	3R(特にリサイクル)の推進	・下取機リサイクル97.28%達成【遊】 ・廃棄物有価リサイクル(川越工場勤務者による分別活動)の実施【遊】 ・AM(アミューズメント)機器の手分解による100%リサイクルを実施【SLS】	P.39-41	
環境対応	その他環境保全活動の推進	・年次サプライヤーミーティングでの環境規制等の情報を配信【E】	P.28	地球資源等への配慮活動
	その他環境保全活動の推進	・年次サプライヤーミーティングでの環境規制等の情報を配信【E】	P.28	
コーポレート・ガバナンス	経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループ経営理念の浸透	・グループマネジメント層向けCSR研修の実施(4回、5社、126名)【SSHD】 ・グループ経営理念をグループイントラネットに掲示し、グループ社員が常時閲覧可能な体制を整備し、また、「CSR項目」としてグループ経営理念などを社員手帳冊子に掲載、常時携行可能とし、社員啓発を促進【グループ】 ・経営トップから、社会情勢や事業発表とともに、現実に即した形で社員に分かりやすく経営理念の意味と実践についてメッセージを配信(年3回)【グループ】 ・「国連グローバル・コンパクト」への参画【グループ】	P.11-13	経営者からの継続的なメッセージ発信や研修などの推進によるグループ経営理念の浸透
	コーポレート・ガバナンスの強化	・グループ役員コンプライアンス研修会(11回、39社、238名)【グループ】 ・各種コンプライアンス研修(40回、1,081名)【グループ】 ・企業倫理ホットラインの設置による使いやすしい通報制度の構築【グループ】 ・個別テーマ研修(46回、1,144名)【グループ】 ・階層別各種研修(マネジメント層向け 3回、3社、85名、新入社員向け 3回、11社、115名)【グループ】	P.16	
	CSR活動推進のための研修	・社会的動向を察知し、リスク感度を高める目的でグループ会社のCSR担当者向け情報媒体(新聞・雑誌等)を通じたCSR情報の収集とグループ各社への提供(随時)【SSHD】	—	
	CSR情報の共有化の推進	・社会的動向を察知し、リスク感度を高める目的でグループ会社のCSR担当者向け情報媒体(新聞・雑誌等)を通じたCSR情報の収集とグループ各社への提供(随時)【SSHD】	—	

※ 活動を実施する主要会社を【】内に記載しています。なお、会社名表記について、以下の会社は略称で記載しています。SSHD：セガサミーホールディングス(株)、E：エンタテインメントコンテンツ事業、遊：サミー(株)、遊技機事業、SHD：(株)セガホールディングス、TMS：(株)トムス・エンタテインメント、SLS：(株)セガ・ロジスティクスサービス、PSR：フェニックスリゾート(株)、SE：(株)セガ エンタテインメント、セガガサミーゴルフ：セガサミーゴルフエンタテインメント(株)、グループ：セガサミーホールディングス(株)・エンタテインメントコンテンツ事業・遊技機事業・リゾート事業

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

セガサミーグループは、コーポレート・ガバナンスを企業行動の最も重要な基盤として位置づけ、企業経営の「効率性の向上」、「健全性の確保」、「透明性の向上」を「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」として掲げ、経営の重要な問題をこの方針に従い判断しています。

コーポレート・ガバナンス体制

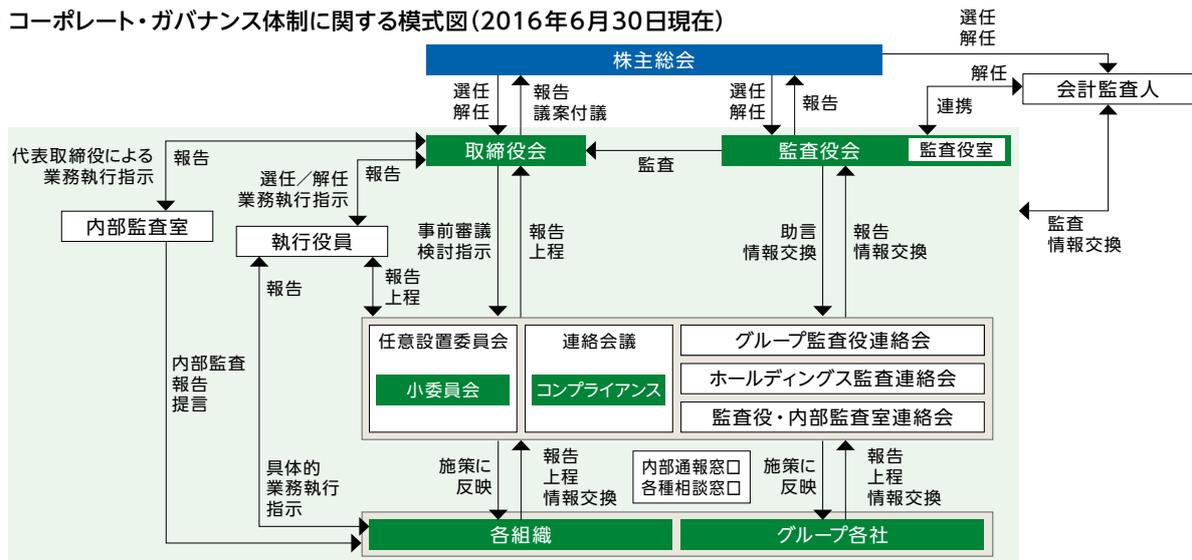
業界や製品・サービスなどの知識や経験などに富んだ取締役が迅速かつ最適な経営判断を導き出すと考え、監査役設置会社形態を採用し、あわせて社外取締役の選任、執行役員制度と内部体制の強化を行い、運営と管理の両面からコーポレート・ガバナンス体制を充実させています。

取締役会は8名（うち3名は社外取締役かつ独立役員）で構成され、月例の定時取締役会並びに適宜開催する臨時取締役会において機動的経営を図っています。監査役会は、月例の定時監査役会並びに適宜開催する臨時監査役会において、4名（うち2名が社外監査役かつ独立役員）の監査役が議論を行っています。そのほか、グループ監査役連絡会、ホールディングス監査連絡会などが各種施策を実施しています。

URL コーポレート・ガバナンスに関する報告書

<http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/corp/pdf/governance/governance.pdf>

● コーポレート・ガバナンス体制に関する模式図（2016年6月30日現在）



役員の選任と報酬の方針

取締役および監査役は、取締役会が選定した候補者を株主総会の決議をもって選任しています。

取締役の報酬等については、株主総会で決議された限度額範囲内^{*1}で、取締役会により委任された代表取締役が、他の取締役と協議の上決定、監査役の報酬等については、同範囲内^{*2}で、監査役の協議によって決定しています。

^{*1} 取締役の報酬限度額は、2012年6月開催の定時株主総会において1,000百万円と決議されています。

^{*2} 監査役の報酬限度額は、2004年6月開催のサミー株式会社定時株主総会および株式会社セガ定時株主総会において50百万円と決議されています。

● 役員の報酬等の総額（2015年度）

区分	対象人数	報酬等の額
取締役	10名	535百万円
監査役	2名	26百万円
計	12名	561百万円

内部統制

「内部統制システムの整備に関する基本方針」に基づき、体制の充実を図っています。グループガバナンス体制の整備と強化のため、グループ内部統制連絡会議、グループCSR連絡会議およびグループ・コンプライアンス連絡会議の機関並びにそれらを支える専門部署を設置し、グループ経営にかかわる内部統制構築上の問題点、進捗などについて審議・確認し、その維持・向上に取り組んでいます。さらなる内部統制の強化のため、2014年度に、業務などの分野ごとの「グループ・マネジメ

ントポリシー」の整備、「グループ行動規範」の社会の変化に合わせた改正を行いました。また、内部統制報告制度に基づき、内部統制システムの評価・報告の仕組みを整備・運用しています。

コンプライアンス

基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ行動規範」および「グループ・マネジメントポリシー」に基づき、一人ひとりがコンプライアンスを意識した適切な行動を取るために、様々な取り組みを行っています。

コンプライアンス推進体制

推進体制の概要と強化

セガサミーホールディングスのグループ内部統制室長が議長を務め、年2回開催される「グループ・コンプライアンス連絡会議」(主要グループ8社の法務部管掌役員・部長、監査役が出席)並びに、同企業の担当者による年2回開催の「実務部会」のもと、法令・社会規範を遵守した健全な企業経営を展開するための社内体制構築を図っています。

内部通報制度

グループ内・社内での自浄機能を作用させ、法令違反や不正行為などを未然に防ぐため、内部通報に関する制度(内部通報制度)を制定しています。グループ各社および社外の法律事務所に通報窓口を設置し、通報事項に関する調査、是正措置、再発防止策の実施、通報者の保護制度を設け、社内イントラネット並びにポスター掲示により全社員に周知しています。

コンプライアンス推進活動

ルールの徹底と意識強化

コンプライアンス意識の醸成と浸透を図るため、グループ各社向け階層別研修の実施や、遭遇しそうな具体例を編集した「コンプライアンスハンドブック」・漫画を使って分かりやすくした関連記事などを全社員が閲覧できるイントラネットに掲載、また年に一度「コンプラ川柳」を全社員から公募するなど、社員の理解と浸透に努めています。

● グループ各社における主なコンプライアンス研修実績(2015年度)

種類	対象	会社名	回数	人数(のべ)
役員コンプライアンス研修	グループ39社の会社役員、監査役、執行役員	SSHD、SHD、サミー、SNW、トイズ、TMS、PSRほか	11回	238名
新入社員研修	グループ11社の新入社員	SSHD、SHD、サミー、SNW、TMS、PSRほか	3回	115名
各種コンプライアンス研修	グループ会社役員、全社員	サミー、SNW、SIC、DL、マーザ、OPほか	40回	1,081名
個別テーマ研修 (法務、契約、知財、情報セキュリティ、個人情報保護法、下請法、食品衛生法ほか)	グループ会社役員、全社員、担当部門社員(研修内容により異なる)	SSHD、SHD、サミー、SNW、TMS、PSRほか	46回	1,144名

※ 以下の会社は略称で記載しています。

SSHD:セガサミーホールディングス(株)、SHD:(株)セガホールディングス、サミー:サミー(株)、SIC:(株)セガインタラクティブ、SGC:(株)セガゲームス、SNW:(株)サミーネットワークス、トイズ:(株)セガトイズ、DL:(株)ダーツライブ、TMS:(株)トムス・エンタテインメント、マーザ:マーザ・アニメーションプラネット(株)、OP:(株)オアシスパーク、PSR:フェニックスリゾート(株)

反社会的勢力の排除

セガサミーグループは、反社会的勢力による経営への関与の防止のために、グループ行動規範に反社会的勢力との一切の関係を排除する旨を明記するとともに、お取引先との契約書へのいわゆる暴排条項の組み込み、お取引先が反社会的勢力に該当するか否かのチェックシステムの導入をグループとして行っています。反社会的勢力からの接触を受けた時は、適宜に警察・弁護士などを含め外部機関と連携して組織的に対処します。

腐敗防止

「グループ行動規範」において、(1)贈賄をはじめ利益供与、便宜供与とみられるあらゆる腐敗を防止すべきこと、(2)寄付を含む社会貢献活動を行う際は、関係法令に基づき定めた社内ルールを遵守して、公明正大に行うべきことを明記し、2014年7月には「グループ行動規範」をより具体的に示す「グループ・マネジメントポリシー」を制定しました。また、「海外贈収賄禁止に関する方針」については、中国語版・韓国語版も作成しグローバルでの浸透を強化しています。

安全保障貿易管理体制

事業をグローバル展開しているセガグループでは、外国為替及び外国貿易法(外為法)に基づき、国際社会における平和と安全の維持に貢献するための貿易管理に取り組んでいます。

会社規程の整備や社員向け研修の実施、イントラネットでの情報提供などにより、輸出の業務に携わる社員一人ひとりの理解と意識を高め、法令違反を未然に防止し適正な貿易管理体制を維持しています。

リスク・マネジメント

基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」に基づき、事業の推進および企業価値の維持・向上を妨げる重大なリスクに対し、平時より対策を検討し、損失を最小化する体制を構築することで、様々なステークホルダーへの影響を極力小さくするよう最大限の努力を行い、社会から強い信頼を得る企業を目指しています。

リスク・マネジメントの状況

危機管理

セガサミーグループでは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」のもと、会社規程として「危機管理規程」を制定し、潜在するリスクの低減および危機の未然防止に努めるとともに、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しています。また、「首都直下地震における帰宅困難者対策のセガサミーグループ基本方針」を策定し、「備蓄品手配」、「建物設備の安全構築」、「安否確認の実施」、「帰宅ルール」についてグループ会社ごとに対応策を定め、イントラネットなどで全社員への周知を図っています。

知的財産の管理

セガサミーグループは、知的財産を企業競争力を高める重要な要素かつ企業経営を支える経営資源と位置づけ、グループ会社ごとに方針を掲げて取り組んでいます。エンタテインメントコンテンツ事業では、各部門に知的財産推進委員を置き、プロジェクトの現場責任者・担当者の知財意識啓発を行うことで、第三者の知的財産権侵害を未然に防ぐとともに自社の知的財産権の適切な管理を行っています。また、ブランドの維持・向上のために模倣品対策なども実施しています。遊技機事業では、研究開発の段階ごとに技術調査などを実施し、徹底したリスクアセスメントを行っています。また、知的財産研修の開催や社内イントラネットでの関連情報掲載により、社員の意識啓発に努めています。

情報セキュリティ

セガサミーグループでは、お客さまの情報はじめ、経営情報や営業情報などすべての情報を重要な財産と捉え、「グループ情報管理に関する方針」、「グループITセキュリティに関する方針」、「グループ個人情報保護に関する方針」、「情報管理規程」などを定めています。また、グループ各社の担当者による情報共有の場を設け、グループ全体での取り組みを一層強化するための施策を話し合うなど、情報管理体制の強化に向けた取り組みを進めています。

個人情報については、「グループ個人情報保護に関する方針」に基づき各社で「プライバシーポリシー」を定め、お客さまの個人情報への不正アクセスや紛失、改ざんおよび漏洩などを防止する対策を講じています。今後もeラーニングなどを新たに活用しながら社員への教育・啓発を実施し、個人情報の適切かつ安全な取り扱いに努めます。

01

お客さまとともに

CSR憲章

私たちは、いつの時代においても、お客さまとともに歩みながら、夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し続けます。

セガサミーグループのアプローチ

人は「衣、食、住」のみならず、楽しさやワクワクがあることによっていきいきとした生活が送れます。セガサミーグループの存在意義であり、社会から期待されていることは、エンタテインメントを通じて、人びとに笑いや喜び、夢や感動をお届けし、日々の生活に潤いや充足感、また明日への活力といった価値をもたらすことです。安心・安全で高品質な製品やサービスの提供はもとより、エンタテインメントを通じて社会課題の解決の一助となる製品やサービスを開発・提供します。また、業界団体等とも積極的に連携・協力し、青少年の健全育成や適切な遊戯(遊技)環境づくりのための活動も推進します。

2015年度の主な取り組み

1. お客さま満足の追求：お客さまニーズの把握と反映
2. 製品・サービスの安全と品質保証：品質保証体制、問題発生時の対応、施設の安全確保
3. 健全に楽しんでいただくための取り組み：製品表示、不正対策、青少年育成、のめり込み問題
4. 製品・技術を通じた貢献：共遊玩具の開発・製造・販売

VOICE

スタッフ一丸となって
お客さまに感動体験を提供していきます。

セガ池袋 GiGO の周辺には女性向けのアニメ関連の店舗が集まっており、そこをターゲットとした UFO キャッチャーフロアをご利用されるお客さまは9割以上が女性です。

キャラクターに対する愛情の強いお客さまも多く、お客さまの期待を超えるためのハードルがとても高いのですが、お客さまから「素敵な空間をつくってくれてありがとう」との声をいただけた時が本当に嬉しく、励みになりました。お客さまに楽しんでいただける空間づくりは、私一人の力では到底、実現することはできません。スタッフと密にコミュニケーションをとり、全員の力でお客さまに感動体験をお届けできるように努めています。

池袋での日々の経験を通じて、ゲームセンターに対するニーズが根強いと実感しており、この業界の未来は明るいと確信しています。これからも、お客さまが笑顔になる空間・体験をタイムリーに提供し続けていきたいと思っています。

株式会社セガ エンタテインメント セガ池袋 GiGO 館長
戸田 健一

神戸、大阪のゲームセンターを担当後、セガのゲームセンターの中でも NO.1 の売上規模であるセガ池袋 GiGO の館長に就任。家庭では子育てにも奮闘する3児の良き父親でもある。

01

お客さまとともに

02

お取引先とともに

03

株主・投資家とともに

04

社員とともに

05

社会とともに「環境」

06

社会とともに「社会貢献」

お客さま満足の追求

基本的な考え方

セガサミーグループは、お客さまのニーズや市場の変化を的確・迅速に把握し、製品開発やサービスの向上に活かしていくことが、継続的にお客さまから支持していただくために必要だと考えます。市場に製品・サービスが溢れる中、「買って良かった」、「もう一度利用したい」と思っただけの製品・サービスの提供をするために、それぞれの事業や業界の特性に合わせた手法で、お客さまの声やご要望をうかがう仕組みを整えるとともに、マーケティング調査などから得られた情報も活かした製品づくりやサービスの提供に努めています。

お客さまニーズの把握と反映

部門の連携と情報共有

エンタテインメントコンテンツ事業では、お客さま満足度の向上を実現するためには、多様化するニーズを的確かつ迅速に把握し、製品開発やサービスに活かしていくことが重要と考えています。開発・マーケティング・販売などの各部門が密に連携し、マーケティングリサーチ機能を強化しています。

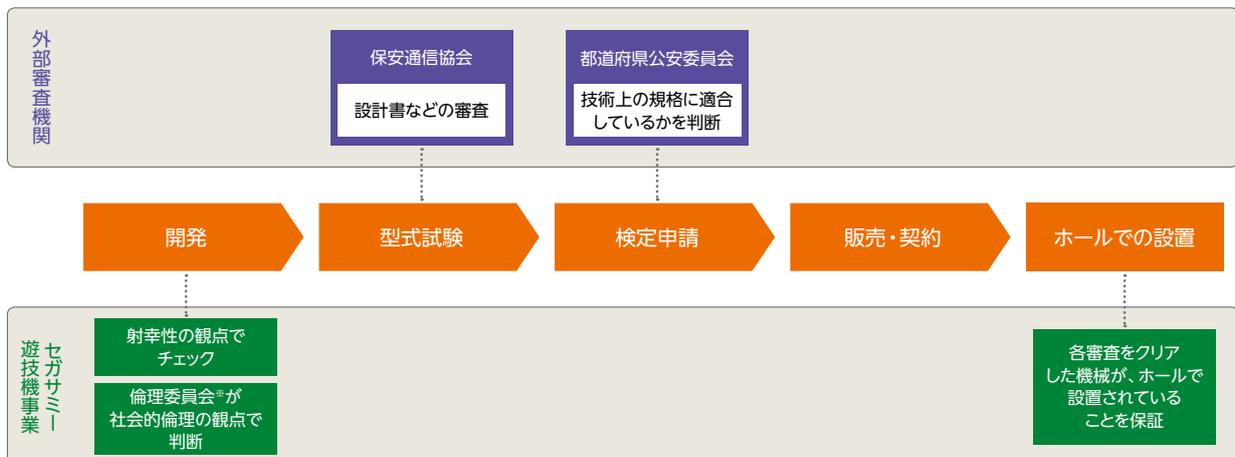
遊技機事業では、ホールとユーザーの両方の「お客さま」に満足いただける遊技機を開発するために、2007年より開発、営業、生産部門が連携し、「ゲート」という3部門間の意見交換の場を、製品開発から市場へリリースされるまでに3回(企画書段階・試作品段階・リリース直前)設けています。リリース後にも総括会議を行い市場の反応や品質についてレポートを作成してその情報を積み上げています。また、すべての機種のリリースから1ヶ月以内をめぐり、営業担当者に対してアンケートを実施してホールの皆さまのご意見やご要望を集約し、開発部門に情報を共有することで次の機種開発に活かしています。

開発における活動

エンタテインメントコンテンツ事業ではセガグループのグループバリューである「創造は生命(いのち)」の精神のもと、お客さまに当グループならではの「遊び」をお届けするため、日々革新的な製品の開発にチャレンジしています。

「遊びを通じてお客さまに夢と感動を届けたい」それが、独創性と先見性でヒット機を創出してきた遊技機事業の開発チームのプライドです。全機種の企画・開発段階の早期・中期・後期の各段階で製品の評価と改善を繰り返し、多様化する市場環境やニーズを的確に捉えるマーケット・インの手法を強化しています。ユーザーの皆さまやサミー社員に商品評価アンケートなどを実施して、製品開発に反映しています。また、ホールの皆さまには積極的な対話とともに定期的なアンケートを実施し、ニーズを迅速に捉えています。

● 機種の開発から営業・設置までのフロー図



※ 倫理委員会：P.24参照(サミー社内の監査機関)

安定的な供給体制の構築

遊技機事業では、ユーザーの皆さまに魅力溢れる製品を提供することが最大の使命であり、それがホールの皆さまの満足にもつながるという考えのもと、製品の生産・供給体制においては、発売初期段階に集中する傾向がある遊技機の需要に的確に応えるために、2012年に新工場を新設し生産能力を増強しました。新工場の隣接地には物流センターも新設し、保管能力の拡張・在庫管理の集約による生産流通体制の効率化を図りました。

また、大規模災害などの非常時にそなえ、お取引先の工場の立地などを部品別にデータベース化し、現状を把握しています。遊技機事業で事業継続計画(BCP)を策定するとともに、お取引先にもBCPの策定をお願いしており、お取引先と計画の内容を共有しています。2015年度で、BCPを策定済みのお取引先は85社、策定中は18社、策定予定無しは3社となっています。

お客さまの声を聞く活動

エンタテインメントコンテンツ事業では、お客さまと直接対面する展示会や店頭イベントで製品の魅力を伝えるために、お客さまの層や趣向に合わせたプロモーションを展開しています。また、直接対話やアンケート活動を行うことで、お客さまの声をさらなる製品価値の向上に活かしています。

遊技機事業では、製品の導入ごとにユーザーさまを対象に定量・定性的な市場の動向調査を行っています。また、定期的にホールを訪れ、積極的に情報交換を行うことにより、ホールの皆さまの声を聞き、さらなる製品価値の向上に活かしています。その事例として、ホールさまからの「訪日旅行中のユーザーさまに遊技説明をしたい」という要望を受けて、一部の機種について英語、中国語、韓国語で記載した遊技説明シートを提供する取り組みを開始しました。

お客さまサポート体制

エンタテインメントコンテンツ事業では、お客さまの声を製品・サービスの品質向上につなげるため、ユーザーサポート窓口を運用する一方で、様々なお客さま情報を社内各部署に届ける専門の組織(CRMソリューション企画推進部)を設けています。

2015年5月に設立されたこの組織は、旧来のお客さま相談室である「CSチーム」と「CRMチーム」の2つのチームで構成されています。

①お客さまの満足を追求する「CSチーム」(旧来のお客さま相談室)

お客さまのお問い合わせに迅速・的確にお応えするとともに、関連部署と随時情報を共有しています。

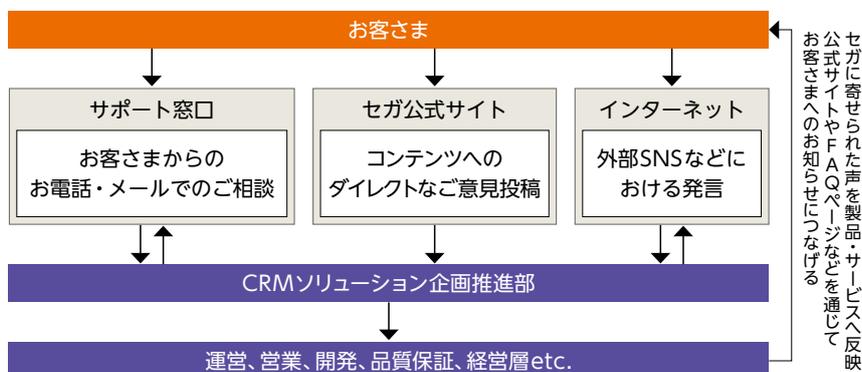
②社内に市場の声をフィードバックする仕組みを設計・構築する「CRMチーム」

様々なツールを活用して、ユーザーアンケートやセガ公式サイトなどに寄せられたご意見・ご要望など膨大なデータを分析するとともに、外部SNS上の声を効率的に収集・蓄積しています。

お客さまのニーズを的確かつタイムリーに把握し、情報を開発部署にフィードバックすることで、製品・サービスの改善に反映し、お客さま満足度の向上につなげています。

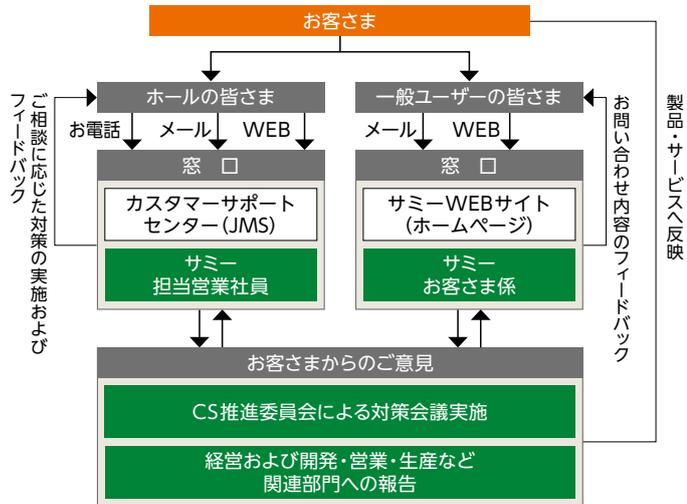
また、アフターサービスにおいては、保守・補修・パーツ提供や物流機能を担うセガ・ロジスティクスサービスと社内対応部門が、品質問題の傾向分析や改善策を討議し、開発・生産・販売へ報告することで改善を図っています。

●お客さまの声にお応えする仕組み・体制(エンタテインメントコンテンツ事業)



遊技機事業におけるお客さまの声に対応する窓口として開設した「カスタマーサポートセンター」も2016年度で11年目になります。現在は、お客さまの期待に沿ったサービスの提供を目指して、満足度貢献因子の調査・検討を進め、最もお客さまが期待されている「的確な故障対応」を迅速に提供するために、オペレーターの教育研修や故障内容の分析に注力しています。お客さまから寄せられた声は、新機種のリリースから1週間以内に開かれる情報共有会議などを通じて、関連部署と共有しています。

● お客さまの声にお応えする仕組み・体制(遊技機事業)



お客さまとの双方向コミュニケーション

エンタテインメントコンテンツ事業における『ファンタシースターオンライン2』をはじめとするオンラインゲームでは、お客さまから寄せられたご意見・ご要望や、ゲーム内の不具合報告に対し、その反映予定や対応状況を公式サイト上で公開することで、お客さまと共に創るサービスであることを訴え、また、安心して快適に楽しんでいただけるように努めています。

遊技機事業の情報配信サイトとして2014年にオープンした『Sammy Plus』は、約9,000店のホールの皆さまのご登録をいただきました。行政への届け出書類の書き方の事例や、部品の交換方法の解説動画など、実務ですぐにでも使える情報をご紹介します。今後は単なる情報発信だけに留まらないサービスを展開し、お客さまにご活用いただける便利ツールとして成長させていきます。その一環として、2,000を超える交換用部品の発注がWEB上でできる『Sammy Plus EC』の運用を2016年4月より契約販社さまに先行リリースしており、将来的にはホールさまにもご利用いただけるよう展開していきます。電話やFAXによる煩雑な注文手続きを大幅に簡略化してホールさまの事務負担を軽減するとともに、注文対応業務にあっていた人員を故障対応業務に集中させることで、一層のサービス向上を図ります。



ホール関係者さま専用サイト『Sammy Plus』

(注)Sammy Plus ECは現状、契約販社さまのみに先行リリースしており、すべてのお客さまに対応している訳ではありません。将来的には、営業マン、ホールさまにもご利用いただけるシステムに展開します。

お客さま視点での業務改善活動

アミューズメント施設を運営するエンタテインメントコンテンツ事業のセガ エンタテインメントでは、より多くのお客さまに笑顔と感動をご提供するためのサービスやお店づくりにも努めています。各店舗では地域特性やお客さまの層に合わせて、社員が様々なアイデアを出し合い、工夫を凝らしたサービスを展開しています。またジャパンアミューズメントエキスポ(展示会)などで、各店舗の接客の技術を披露するイベントなどに参加し、社員のモチベーションと業務改善活動の向上を図っています。

製品・サービスの安全と品質保証

基本的な考え方

セガサミーグループでは、製品やサービスを提供する各国・地域、業界の特性に応じた最適な品質保証体制をグループ各社がそれぞれ構築し、開発から生産、販売、サービスにいたる全プロセスにおいて、品質の維持・向上に努めています。特に製品の安全性については、各種法令や業界団体が定める基準はもとより、グループ各社が定める自主基準に基づき、徹底した安全管理を行うことにより、お客さまから信頼と満足を得られる製品・サービスのご提供を目指しています。

品質保証体制

エンタテインメントコンテンツ事業のセガ・インタラクティブでは、営業、開発などのラインから独立した立場の品質保証部が、品質保証規程に基づいて製品やサービスの安全性と品質を一括して管理することで、体制の強化を図っています。特に製品の安全性については、自主基準並びに業界団体(JAMMA*)のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。海外においても、現地の規制や状況に合った品質保証体制を構築しています。また、開発や生産、営業、品質管理などの各部門の関係者が集まり、製品仕様、設計仕様、量産仕様、量産判定の4つの観点で製品を評価するデザインレビューを実施しています。このほか、リスクマップを用いて製品のリスクを評価するPL診断も行っており、さらに出荷判定会議で出荷の最終的な判断を議論するなど、厳しい基準を満たした製品のみを市場にリリースしています。

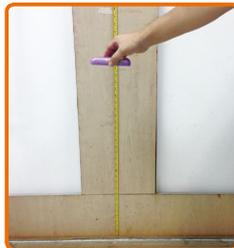
エンタテインメントコンテンツ事業のセガトイズでは、「お客さま重視」と「製品安全の確保」を経営の最優先事項に掲げ、製品安全に関する基本方針に基づく自主行動計画を策定・推進しています。開発・設計段階では、設計審査や妥当性検証のゲートを設け、自主基準に加え日本玩具協会の定める玩具安全基準(ST基準)、食品衛生法などに準拠した安全性の確保と市場での不具合の未然防止に努めています。生産開始前に、試作品を用いた耐久・耐過重試験や落下試験など、様々な品質試験を徹底し、製品品質・安全を確認しています。また、玩具は幅広い層のお客さまが使用することから、製品含有物質についての食品衛生法などに基づく品質基準、ポリ塩化ビニル(PVC)は管理要項、誓約書を設けるなど、厳しい自主基準を設けています。

* JAMMA：一般社団法人日本アミューズメントマシン協会。



耐久試験、耐荷重試験、落下試験

スイッチやボタン、耐荷重、落下時などの耐久性を確認します。



静電気試験

人体モデルと等価の静電気を製品に印加し、安全性、故障などが発生しないかを確認します。



高温高湿槽試験

温度、湿度を変えられる装置で様々な環境条件下での保存性、動作などを確認します。

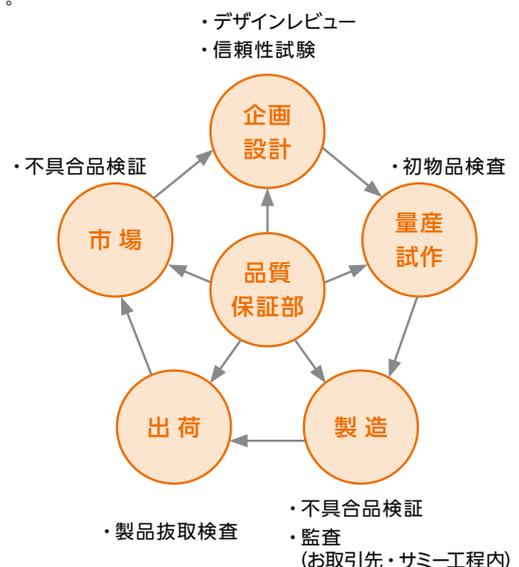


蛍光X線分析装置

製品にカドミウムや鉛、水銀などの有害物質が含まれていないかをすべての製品で確認します。

遊技機事業では、積極的な創意工夫と効果的に改善を行う品質保証活動により、安全で良質な製品やサービスを提供しています。また、人体の安全にかかわる「重要不具合」ゼロという目標を設定し、品質保証規程をはじめとする社内規程を設け、品質マニュアルの作成や、品質管理文書・品質記録の作成を行っています。そしてお取引先においても4M(Man, Machine, Material, Method)管理がされているかをチェックし、購買部と品質保証部がお取引先の監査・指導を行うこともあります。2016年1月からは、パチンコ、パチスロ両方の製品に対し、「打込み検査」を製品抜取検査の項目に加え、品質保証体制のさらなる強化に努めています。また、開発・営業・生産との連携強化による品質向上も図っています。

● 品質保証活動(遊技機事業)



問題発生時の対応と情報開示

エンタテインメントコンテンツ事業では、製品やサービスが起因となる品質問題が発生した場合は、その規模や種類に応じて、確実に迅速な対応を行うとともに、恒久的に再発を防止するための体制強化も図っています。情報開示については、ダイレクトメールや業界紙などを通じて速やかに行い、必要に応じて専用窓口を設置するなど、アミューズメント施設運営事業者さま、ユーザーさまの不利益を最小限に抑えるよう努めています。

遊技機事業では、品質上の問題が発生した場合には、定められた規定に基づき関係部署に報告され、お客さま重視の迅速な対応と合わせて適宜情報を開示することとしています。品質上の問題への対処としては、まず不具合現品を検証することによって、設計・製造・輸送など、どの段階の問題なのかを速やかに判断します。2015年度下期より、開発・営業・生産部門が参加する「新機種トラブル情報共有会議」を定期的で開催し、いち早く問題解決し、再発防止を図るよう努めています。2015年度も製造物責任(PL)にかかわる事件は発生していません。

法規制に対応したものづくり

パチンコ・パチスロ業界において製品を量産・販売する際は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」に基づく複数の許認可プロセスを経ることが義務づけられています。まず、一般財団法人保安通信協会に型式試験申請を行い、その後、各都道府県公安委員会の検定*を取得し、営業・生産段階へと進むことができます。

* 自社が開発した遊技機の型式が国家公安委員会が定める技術上の規格に適合しているか否かを審査する検定。

施設・サービスの安全確保

エンタテインメントコンテンツ事業のセガ エンタテインメントでは、アミューズメント機器はもちろん、お客さまの安全にかかわる施設に関しても定期的に設備点検を実施し、お客さまの安全確保に努めています。また、多くのお客さまに安心して気持ちよく過ごしていただくために、分煙エリアの設置なども積極的に進めています。今後も、自社で定めるチェックリストに基づき、運営面、管理面の両面から自主点検を実施し、安全にかつ安心して楽しんでいただける環境確保に努めます。

健全に楽しんでいただくための取り組み

基本的な考え方

セガサミーグループの製品・サービスを健全にお楽しみいただくために、各種法令遵守や消費者保護の観点から、利用者の皆さまが安心して選べる・楽しめる環境づくりに努めています。エンタテインメントコンテンツ事業のセガゲームスでは、業界団体基準に加え独自の表示を徹底し、利用対象範囲を明確化しています。また、パチンコ・パチスロ業界では、のめりこみ問題や不正行為などの諸問題に対し、業界全体で解決策を模索し、業界の健全化に貢献していきます。

製品・サービスへの表示とラベリング

家庭用ゲームソフトの製品パッケージや取扱説明書などは、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、分かりやすく適切に表示することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本においては、CERO*に基づく対象年齢表示に加え、独自の自主基準も表示しています。CEROの審査を通じて得たノウハウを蓄積し、事例をもとにした26カテゴリーのガイドラインを策定しています。

* CERO: 特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構。



適正なコンテンツ利用のための整備

スマートフォンやタブレット端末向けコンテンツを提供するエンタテインメントコンテンツ事業のセガゲームス並びにサミーネットワークスでは主に、未成年者の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、一部タイトルで年齢認証による月間の課金上限を設けています。また、有料で販売しているポイントなどを使用して遊ぶガチャについては、入手できるアイテムのレアリティごとの、もしくはアイテムごとの入手確率を明記することを社内ガイドラインで定めるなど、曖昧な表現による過度な期待や、それによる過課金を防ぐよう努めています。今後も、利用者の皆さまが安心して楽しめる健全なゲーム環境づくりに努めていきます。

青少年の健全な育成に向けた取り組み

エンタテインメントコンテンツ事業のセガ エンタテインメントでは、業界の発展と健全な施設運営を実現するために、「AOU 青少年アドバイザー※」資格の取得を推奨しています。また業界が一丸となって、保護者同伴時の年少者の立入規制緩和に向けた環境整備に努めてきました。その結果、2016年6月23日から法律が一部改正され、16歳未満のお子さまも保護者同伴であれば18時以降もアミューズメント施設で遊んでいただけるようになりました(一部都道府県を除く)。今後も、多様なお客さまのニーズにお応えできるよう、努力していきます。

※ AOU 青少年アドバイザー：AOU(一般社団法人 全日本アミューズメント施設営業者協会連合会)主催の青少年指導員講座を修了したアドバイザー。

不正防止対策

遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」(2004年7月施行)を受けて、遊技機事業では、不正な方法で利益を得る、いわゆる“ゴト行為”を未然に防ぐために遊技機不正対策グループを設置し、継続的に市場情報を収集し不正に強い遊技機づくりに取り組んでいます。また、一部市場に流布している根拠の無い不当な攻略情報に対し、サミーのWEBサイトや小冊子などで注意を促すなどの対策を図っています。



のめり込み問題への取り組み

パチンコ・パチスロ業界では、のめり込みの実態調査や過度な遊技を予防するための注意喚起、のめり込みに起因する児童車内放置撲滅の活動を行っています。遊技機事業では、かねてより、パチンコ依存問題相談機関「認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク」を支援しています。また、広告宣伝の際、様々な媒体に共通標語「パチンコ・パチスロは適度に楽しむ遊びです。のめり込みに注意しましょう。」を掲載し、啓発に努めています。



依存予防啓発ポスター

倫理・社会的な配慮

エンタテインメントコンテンツ事業のセガ・インタラクティブでは、JAMMAの制定する「健全化を阻害する機械基準」の運用規程を遵守し、製品化前の社内検証において、過度に残虐な表現やお客さまを不快にさせてしまう表現が無い、チェックを行っています。

遊技機事業では社内の監査機関である倫理委員会を設置し、一定の倫理基準や社会ルールなどを満たした遊技機を開発しているかどうかを定期的にチェックしています。独自のガイドラインを策定し、犯罪行為を誘発する恐れのあるものや著しく射幸心をそそる恐れのある内容が製品の演出などに含まれることのないように、厳しく管理しています。

業界・外部団体との連携

パチンコ・パチスロ業界では、のめり込み問題や不正行為などの諸問題があることも事実です。これは当社だけの問題ではなく、問題解決に向けて業界全体がベクトルを合わせていくことが重要と考えています。2015年度は、業界で課題を共有し、解決を目指すための会議に積極的に参加しました。また、業界を挙げて、闇スロ*（違法賭博）撲滅に向けた活動（ポスター作成、HPコンテンツ内容の充実、保有実態調査の実施など）にも積極的に参加しています。

これまで遊技機を工場から出荷するまでがメーカーの責任の範囲となっていたが、2016年4月からはホールに設置する段階まで責任の範囲が拡大しました。業界団体を通じて製品のトレーサビリティの確保に厳格に取り組み、不正改造を防ぐとともに、配送時のセキュリティを一段と強化するため、配送事業者の業界団体である遊技機運送事業協同組合連合会との連携を強化しています。また、遊技機の点検および取り扱いを適正に行える者の条件を整備し、必要な知識および技能を有している遊技機取扱主任者のみがメーカーの委託業務に携われるようにしました。この遊技機取扱主任者の資格は、自社製品を取り扱う際には必要とされていませんが、業務レベル向上につなげるため、遊技機事業では営業担当者のほぼ全員が取得しています。

※「闇スロ」：「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に基づく許可を受けず、貸メダル料金を法外な額としたり、改造等により射幸性を著しく高めたパチスロを使用するなどして客に遊ばせるもので、賭博開帳図利罪及び賭博罪が適用される違法行為。



パチンコ・パチスロ産業21世紀会
「闇スロ撲滅ポスター」

製品・技術を通じた貢献

視覚障がいを持つお子さまも楽しめる動くぬいぐるみ

エンタテインメントコンテンツ事業のセガトイズが提供する『NEWおいかけっこアンパンマン』は視覚障がいを持つお子さまも楽しく遊べるよう配慮された玩具です。「手のひらスイッチを押すことでメロディーが流れ、アンパンマンが動く」、「自分で操作したことがメロディーで感じられる」、「色がはっきりしており、動きが穏やかである」など、視覚に障がいがあっても楽しめる工夫がされています。ものに触ろうとする積極的な意欲や手指を動かす能力を育む玩具として、身体の動きを誘い、運動経験を重ねることも期待でき、就学前視覚障がい教育でも評価されています。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

02

お取引先とともに

CSR憲章

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、ともに夢と感動溢れるエンタテインメントの提供を目指します。

セガサミーグループのアプローチ

お取引先は、仕事を通じて同じ目的を目指し、互いに切磋琢磨する良きパートナーであると考えます。清廉性、経済性、安全・品質、保守、技術、環境という多角的な視点で、お取引先を選定する基準や体制をグループ全体で整えると同時に、お取引先のご理解・ご協力を得ることで、相互信頼の上に公平・公正で良好な関係を築いていきます。そのために私たちは幅広く情報収集し、お取引先に伍した知識と判断力を持ち、お互いに適切な情報を交換し合いながら、夢と感動溢れるエンタテインメントの提供をともに目指します。

2015年度の主な取り組み

1. 公平・公正な取引

- ・調達・購買におけるCSR活動の推進
- ・下請法遵守体制の強化を目的とする研修を実施
(受講者数 エンタテインメントコンテンツ事業：11回・412名、遊技機事業：17回・193名)
- ・適切な発注手続き遂行のためのシステム導入(サミー)

2. お取引先とのパートナーシップ

- ・セガ・インタラクティブのサプライヤーミーティング開催(のべ83社142名のお取引先が参加)
- ・サミーの合同品質会議開催(のべ18社83名が参加)

VOICE

商品の魅力だけでなく、
人柄で選んでいただける
営業マンを目指しています。

お取引先の問屋や小売店のバイヤーさまへ提案営業をしています。毎日のように売り場づくりの提案も含め店頭へ足を運び、イベント開催時には店舗のスタッフの皆さまのお手伝いをさせていただいています。

野球の経験から、営業マンとなった今も実績とスピードを意識して仕事しており、お取引先のどんな依頼にも迅速に 대응できるよう努力しています。社内外の方々の信頼を得られるよう、仕事への熱意を目に見える形で示していきたいと考えています。商品を買っていただいて終わりではなく、何度も足を運び、アフターフォローもきちんとしていくことを心がけ、良好な人間関係の構築を目指しています。こうした姿勢を見ていただいたのか、担当外のお取引先からも「担当してほしい」といわれた時はとても嬉しかったです。大事な商談の日は野球の時と同じような高揚感があります。今後は先を見越した提案や問題解決をしていくことを課題に、幅広くお取引先を任せてもらえるよう頑張ります。



株式会社セガトイズ 国内営業本部 営業部
大久保 泰成

2015年に野球部を引退後、セガトイズへ。野球で身に付けた「明るさ・元気さ・スピード」を仕事でも心がけている。今後はスタジアムから職場にフィールドを変え、活躍を目指す。

公平・公正な取引

基本的な考え方

セガサミーグループでは、お取引先との公平・公正な関係を構築することをグループ行動規範に明記し、常に清廉・透明で公正な取引を徹底しています。社会的責任を果たすことはサプライチェーン全体の課題であるため、お取引先の選定や取引の継続については、信用度、技術力、開発力、価格、環境への対応力などを総合的に考慮し、公平かつ明確な基準で判断しています。また、お取引先との公平・公正な取引を実践するために、下請法遵守を推進する体制をグループ各社に設けて管理面の強化を図るとともに、関連部門や対象者向けの教育を継続的に実施しています。

お取引先への要請事項

「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」にそって、以下の項目に対する取り組みをお取引先へ要請しています。

- I. 労働
非差別・人権尊重、賃金、労働時間、団結権、児童労働禁止
- II. 環境
化学物質管理、環境影響の最小化、3R、廃棄物の適正処理と削減
- III. 安全衛生
職場の安全衛生対策、労働災害・労働疾病、健康管理
- IV. 品質・安全性
製品安全性の確保
- V. 公正取引・倫理
汚職・贈収賄、優越的地位乱用等の禁止、情報提供、知的財産、輸出管理
- VI. 情報セキュリティ



「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」

http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/pdf/csr/20141101_supplychain_csr.pdf

公平・公正な取引の徹底

調達・購買におけるCSR活動の推進

エンタテインメントコンテンツ事業では、グループ行動規範に基づき、儀礼廃止や金品の贈与、接待などを行わない旨をお取引先に書面で通知することで、取引関係の清廉性の維持を表明しています。また、社内規程に基づく継続的なお取引先の評価・選定および管理を複数部門による審査の上、行っています。アミューズメント機器分野においては、2011年度に「AM資材調達方針」を定めました。また、2015年度より「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」に対するご理解と実践をいただくことを取引の際の基本契約書に盛り込んでいます。既存のお取引先についても契約書の更新をお願いしており、概ね60%で再締結が完了しています。すべてのお取引先に毎年、環境や品質などの取り組みについてのチェックシートを活用して自己点検することをお願いしているほか、主要なお取引先40社には1年に1度のペースで調達担当者が訪問し、監査を行っています。

遊技機事業では、「生産購買外注管理規定」、「取引先との取引及び口座管理規定」など各種規程に基づき、お取引先の評価・選定を行っています。新規お取引先においては、複数部門による審査を行い、相手先や外部調査機関から入手した情報をもとに適正性を判断し選定しています。また、新規取引開始の際は、「清廉性について」の書面をもとに直接、管理職より内容を説明しています。購買取引においては、サプライチェーン全体で「グループCSR憲章」、「グループ行動規範」に基づいた購買活動を推進しています。お取引先を対象に監査を実施し、「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」に対する理解と実践をお願いしています。2015年度は103社を対象に104回の継続監査を実施し、新たに5社に対して6回の監査を行いました。監査は20項目の設問を設定しており、毎年、評価ポイントを見直しています。お取引先には必要に応じて是正対応をお願いしています。なお、コンゴ民主共和国および周辺諸国で人権侵害、環境破壊、汚職など、不正に関わる組織の資金源となっている紛争鉱物（スズ、タンタル、タングステン、金）問題を重大な課題として懸念しており、2016年5月に125社を対象に紛争鉱物の使用の有無を調査しました。その結果、使用の実態は確認されませんでした。

アミューズメント(AM)資材調達方針

[基本姿勢]

1. 当社のAM資材調達活動にあたる全ての社員は、法令・社会規範を遵守し、「セガサミーグループ行動規範」及び各種社内規程に則り良識ある行動をします。
2. 当社のAM資材調達は清廉・公正を旨とし、お取引先に対して公平かつ誠実に対応いたします。
3. お取引先とは、公正な取引のもと信頼関係構築に勤め、協力して技術・品質の向上、経済性・効率性を追求し、相互繁栄を目指します。

下請法遵守体制の強化

エンタテインメントコンテンツ事業では、下請法遵守を推進する委員会を2009年4月に設立し、下請法違反の防止や啓発を行うとともに、管理面の強化を図っています。2015年度も業務上、下請取引が発生する部門を中心に11回(受講者412名)の説明会を実施し、社内イントラネット上の専用WEBサイトも活用して、必要な知識の習得や遵法意識の向上に努めました。

遊技機事業では、下請法の遵守をはじめとしたコンプライアンス体制の構築と運用を最重要事項と捉え、社内教育の強化を図っています。2015年度は、人事制度上の階層別教育研修プログラムに組み込み、193名が参加しました。また、事務処理をシステム化することで、適切な発注手続きが遂行される体制の整備に努め、さらに開発部門においては、サミーの発注ルールを改めてお知らせするために担当役員名でレターをお取引先に対して送付したほか、発注手続きの遅延が生じていないかをチェックするツールを内製で整備するなど、下請法遵守に向けた各種取り組みを行いました。

お取引先さま相談窓口の設置

お取引先との相互信頼と清廉性に則った健全な取引を維持していくことを目的に、相談窓口として社内外に「サミー企業倫理ホットライン」を設置し、お取引先には、新規取引の際に制度のご説明を実施しています。また、事務所内のお取引先の目につく場所にポスターを掲示するなど、制度の周知と活用をお願いしています。なお、相談を受けた場合は、お取引先が不当な扱いを受けることが無いよう中立的な立場であるコーポレート本部が対応し、担当役員が責任を持って処理を行います。

児童労働・強制労働の禁止

エンタテインメントコンテンツ事業では、主に海外の委託工場などでの児童労働および強制労働の禁止についての取り組みを進めています。セガ・インタラクティブでは、プライズ商品に関し購買部門並びに品質管理部門が合同で2ヶ月に1回製造委託工場を訪問し、現場確認を含む工場チェックや第三者による工場監査を実施しています。セガトイズでは、児童労働および強制労働に関する法令遵守条項を盛り込んだ製造委託基本契約書の再締結の推進、購買部門や現地担当者の人権に関する研修の実施、第三者機関による労働基準遵守証明書取得状況のチェックなどを実施しています。

お取引先とのパートナーシップ

サプライヤーとの連携

エンタテインメントコンテンツ事業のセガ・インタラクティブでは、サプライチェーン全体で製品の安全性や品質を確保するため、サプライヤーミーティングを開催し、環境配慮や品質などについての調達方針や開発方針を共有しています。2015年度は83社142名のお取引先にご参加いただきました。また、コミュニケーションシステム(BATON)による円滑な情報共有を通じ、サプライヤーとの連携強化に努めています。コミュニケーションシステム(BATON)では、下請法違反などの相談窓口としての機能や、災害発生時の被害情報のタイムリーな共有機能などをさらに充実させるとともに、サプライヤーが認識している課題の掘り起こしもできるように開発を進めています。



サプライヤーミーティングの様子

生産パートナーの品質維持・向上

エンタテインメントコンテンツ事業のセガ・インタラクティブでは、生産パートナーとの協働を重視しています。サプライヤーとしての連携に加え、品質目標に基づく工場監査や組み立て指導などを定期的に行っています。新規取引に際しては工場監査を義務づけ、継続お取引先にも年1回の工場監査を行っています。監査結果はお取引先に通知し、品質目標を下回る生産パートナーには、対策書の発行や品質会議の実施など改善を依頼しています。また、生産パートナーの自主的な品質管理体制の定着のために、生産部発行の「セガAM製品 検査員教本」で学習し試験に合格した者のみが自主監査できる検査員認定制度を設けています。同教本は中国語版も発行しています。

アミューズメント施設運営パートナーとの協働

エンタテインメントコンテンツ事業では、アミューズメント業界の活性化を重点課題と位置づけ、施設運営パートナーへのきめ細やかなサポートや施策提案を強化しています。2014年度より『CHUNITHM』、『艦これアーケード』、『ルイージマンション アーケード』などについて複数の販売プランをご用意することで、施設運営パートナーが複数のビジネスモデルの中から一番有効だと思われるプランを選択できる新しい仕組みを導入しています。

『艦これアーケード』は、ブラウザゲームで『艦隊これくしょん』を楽しんでいたお客さまを新たにアミューズメント施設に呼び込むことにつながっています。初めてアミューズメント施設に来たお客さまでもその空間を楽しんでいただけるように、ポイントを記載した施設の運営マニュアルを作成し、施設運営パートナーへ提案することで、アミューズメント業界のお客さま層の拡大を図っています。

販売店・パートナーメーカーとの協働

エンタテインメントコンテンツ事業のセガゲームスでは、家庭用ゲームソフトの魅力を直接お客さまにお伝えするため、販売店の店頭をタッチポイントとして、製品とお店の特性に合わせた店頭販促やイベントを企画して全国規模で展開しています。この販売網の強みを活かして営業・流通組織を持たないほかのゲームメーカーの製品も積極的に取り扱っています。また各メーカーをパートナーとして自社製品同様に細やかな販売サポートを行い、お客さまに優良なゲームソフトをお届けしています。

海外パートナーとの協働

エンタテインメントコンテンツ事業が推進する海外展開においては、各国の法令遵守はもとより、現地の文化や慣習に精通する現地企業との良好なパートナーシップ構築に努めています。特にアミューズメント機器は販売後のメンテナンスやアフターフォローが重要なため、現地の流通業者との緊密な協力関係のもとでしっかりとしたサービス体制を築いています。近年ではこの体制を活かし、自身が流通業者として自社の製品と同じように海外メーカーの機器の販売も行っています。

協力会社との合同品質会議

遊技機事業では、パチスロのユニット組み立てを担当する協力会社を対象に、年2回の合同品質会議を実施しています。会議では、不良率低減に向けた目標を設定し、不具合の共有や技術交流なども行っています。こうした取り組みを継続してきたことで不良率は大幅に減少し、最近では協力会社同士の連携も生まれています。今後もサプライチェーン全体で品質向上と業務改善に向けた連携を強化していきます。

● 合同品質会議の開催実績(2015年度)

		上期	下期	小計	合計
協力企業	のべ参加社数	9社	8社	17社	17社
	のべ参加人数	16名	16名	32名	
サミー	のべ参加人数	25名	26名	51名	83名



2015年度合同品質会議

03

株主・投資家とともに

CSR憲章

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、継続的な成長・企業価値の最大化を目指します。そして、適正な利益還元と適時的確な情報開示を通じ、透明な経営を図り、株主・社会の期待に応えます。

セガサミーグループのアプローチ

適時的確な経営情報の開示と適正な株主還元の実施を、経営の重要課題と位置づけます。

斬新なアイデアに基づく製品開発、安定供給を可能にする生産体制、緻密なマーケティングに基づく販売計画と目先の利益にとらわれない営業姿勢、そして、透明性・信頼性の高い管理体制を整え、株主・投資家の皆さまの信頼に応えます。

また、株主・投資家との様々な双方向コミュニケーション活動を通じ、経営情報を的確に伝達すると同時に、皆さまからのご意見を収集し、経営へのフィードバックを行います。

2015年度の主な取り組み

1. グループ構造改革を含む、当社の取り組みを積極的に開示



アニュアルレポート

<http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/ar2015/>

2. 幅広い投資家層に向けた説明会などの実施（機関投資家向け事業戦略説明会、個人投資家向けイベントへの積極参加）
3. アニュアルレポートやIRサイトに対して、複数の第三者機関より評価を獲得

VOICE

誠実なコミュニケーションを心がけ、成長戦略を分かりやすく伝えていきます。

IRとして、セガサミーグループの実態をしっかりと把握し、数字だけではなく、戦略を含め背景についても明確かつ誠実に伝えていくことを心がけています。情報開示の透明性とはその姿勢が業績の善し悪しに左右されないことだと考えています。それが株主や投資家の皆さまとの強い信頼関係の礎となり、セガサミーの発信するメッセージが市場から正確、かつ適切に評価されることにつながり、最終的にIRの真の目的である、セガサミーとしての企業価値の向上へと行きつくものと考えています。

また、重要なステークホルダーの一人である投資家からの評価に対し、現場でも意識して業務に取り組んでもらえるように情報を発信していこうと考えています。外部の意見を内部に伝えることで、広くグループ全体に企業価値向上の意識を育んでいきます。未来に向けて着実に成長し続けるためのセガサミーの戦略を、ストーリー性をもって分かりやすく伝えていくべく、挑戦を続けていきます。



セガサミーホールディングス株式会社
財務経理本部 IR部
近藤 浩章

経営政策（現・経営企画）としてグループ会社の事業支援などを担当後、IR担当に。休日には近所の公園で子どもと一緒に遊んだり、絵本の読み聞かせをしたり、父親の価値向上に取り組み奮闘中。

適正な利益還元

利益分配に関する基本方針

セガサミーホールディングスは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。安定的な配当を実現すべく、配当は中間および期末の年2回とし、2016年3月期は、中間配当は1株あたり20円、期末配当は1株あたり20円を実施しました。

株主・投資家への情報開示

IRポリシー

セガサミーホールディングスは、「IR・広報に関する方針」に基づき、金融商品取引法、その他法令および東京証券取引所の定める適時開示規則に沿って情報開示することはもちろん、経営方針や事業活動などの情報を幅広く提供することで、株主・投資家の皆さまからの一層の理解と信頼を得るための活動に努めています。また、法定開示、適時開示規則に該当しない任意開示情報についても、投資家の皆さまの投資判断に影響を与えうるものは積極的に情報開示しており、東京証券取引所が提供するTDnetを通じて開示するとともに、当社WEBサイトでも開示します。

 セガサミーグループIR・広報に関する方針
http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy.html

株主・投資家とのコミュニケーション

開かれた株主総会の実施

セガサミーホールディングスはより多くの株主の皆さまに定時株主総会に出席していただけるよう、集中日を避け、収容人数に配慮して会場を決定しています。2016年6月の株主総会には、288名の株主の皆さまにご出席いただきました。今後も、ご意見やご質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営などを心がけていきます。

IR活動

国内外における投資家向け説明会などの実施や、株主・投資家の皆さまからのお問い合わせにお応えするためのIRインフォメーションセンターを設置しています。また、国内外の機関投資家や証券アナリストに対して決算説明会を半期に1回開催し、四半期決算に関しては電話会議による説明会を実施しているほか、個人投資家の皆さまと積極的にコミュニケーションを図るために、会社説明会イベントにも参加しています。



日経IR・投資フェア2015

● IR活動実績

	2015年3月期	2016年3月期
決算説明会(四半期毎、電話会議を含む)	4回	4回
スモールミーティング	4回	3回
個別ミーティング(国内)	187回	137回
個別ミーティング(海外)	123回	155回
事業セグメント別説明会(施設見学会を含む)	2回	2回
海外ロードショー(カンファレンスを含む)	5回(北米1回、アジア2回、欧州2回)	4回(北米1回、アジア2回、欧州1回)
国内カンファレンス	6回	5回
個人投資家イベント	1回	2回

IR活動に対する外部評価

2015年度に当グループのIR活動が第三者機関から表彰されたものは右の通りです。



- 2015年度 日経アニュアルレポートアワード 優秀賞受賞
日本経済新聞社(2016年2月)
- 2015年度 全上場企業ホームページ 充実度ランキング
最優秀サイト 22位 日興アイ・アール株式会社(2015年12月10日)
- 2015年インターネットIR表彰 優良賞受賞
大和インベスター・リレーションズ株式会社(2015年11月12日)
- Gomez IRサイト総合ランキング 2015 銀賞受賞
モーニングスター株式会社(2015年6月30日)

 アニュアルレポート
http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/printing_annual.html

04

社員とともに

CSR憲章

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神がグループ発展の源であり、最大の財産です。私たちは、社員がもつ限りない可能性を最大限発揮できる企業文化を育み、ともに成長していきます。

セガサミーグループのアプローチ

2014年8月、「グループ行動規範」をより具体的に示した「グループ・マネジメントポリシー」を制定しました。社員の業務指針にあたるこのポリシーには「人財に関する方針」、「労働安全衛生に関する方針」が含まれます。会社の最大の財産（人財）である社員が、自らの価値を高め、誇りとやりがいをもっていきいきと働ける快適で安全な職場環境をつくり、社員が自らの成長とグループの成長をあわせて実感できる企業風土を育てていきます。

2015年度の主な取り組み

1. 「人財に関する方針」、「労働安全衛生に関する方針」のグループCSR研修における周知（管理職層受講者数：5社・126名、新入社員：11社・111名）
2. 人財育成のための教育・研修制度の充実
3. 事業会社の人事・労務に関する数字の把握とデータ集計のバウンダリー拡大

VOICE

新入社員に楽しく、長く、元気に働いてもらえるように、丁寧にサポートしていきます。

就職活動中にセガグループのたくさんの先輩社員と会っていくうち、「私はきっとこの会社の人たちが好きになれる」と強く感じたため、入社を決めました。

現在では、採用と新人研修を担当しています。採用では、面白さを追求するセガグループと一緒に頑張ってつくり上げてくれる、チャレンジ精神に溢れた学生の皆さんとの出会いを大切にしています。また、新人研修では、何ごとにも貪欲に吸収し、成長していきたいという意欲的な人財になるように、その土台づくりとなる研修を実施しています。入社から3年間ほどは新入社員の様子をフォローしており、積極的にコミュニケーションを取りながら、成長する姿を見守っています。

セガグループの未来につながる重要な仕事を任されていることに、責任の重みと大きなやりがいを感じています。社員の皆さんに長く、元気に働いてほしい。そのために、私自身も日々成長しながら、丁寧なサポートを心がけていきたいと思っています。

株式会社セガホールディングス コーポレート本部 人事部
嶋崎 透夏

大学ではアラビア語を専攻し、イスラム諸国へ短期留学。学生時代の部活のマネジャーの経験から、人が成長していく姿を見るのが楽しみ。現在は人事部として、お客さまに笑顔と楽しさをお届けするセガグループの社員が気持ちよく働けるように、サポートに励んでいる。

人権の尊重

基本的な考え方

セガサミーグループでは、2014年に署名した国連グローバル・コンパクトで提唱されている「人権に関する原則」を基盤に置いた人財マネジメント(採用、配属、支援など)を行っています。また、「グループ行動規範」や「グループ・マネジメントポリシー(人財に関する方針)」で人権の尊重を明文化することにより、社員一人ひとりが人権に対する意識を高め、行動できるよう努めています。

 **グループ行動規範** http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_csr.html

 **グループ・マネジメントポリシー** http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy.html

ハラスメント撲滅への取り組み

エンタテインメントコンテンツ事業では、すべての社員が気持ち良く働き、最大のパフォーマンスを発揮できるよう、ハラスメントの防止に注力しています。社内研修やイントラネット上で気軽にできるミニテスト、ケーススタディを利用し、ハラスメントに関する理解の徹底を図っています。また、役員および社員(受入出向者、アルバイト、派遣社員を含む)が不安や悩みを相談できる窓口を、相談内容によって選べるよう社内外に複数設置しています。

遊技機事業では、公正な扱いやハラスメントの撲滅を目的として新任管理職研修の中でハラスメント研修を実施しています。2015年度よりすべての役員、管理職向けにハラスメントの知識や部下とのコミュニケーション方法などについての研修を実施して人権に関する理解をさらに深めているほか、ハラスメントに関する自己点検シートを配布し、意識を高めています。また、2016年2月にハラスメントを専門とする相談窓口を設置し対応しています。

人財の育成と評価

基本的な考え方

セガサミーグループでは、「グループ・マネジメントポリシー(人財に関する方針)」に基づき、公正な評価をするための仕組みを各社で整備しています。社員の育成については、階層や等級ごとに細分化された体系的な研修プログラム、全社員受講可能な教育環境の構築、資格や役割に応じたパフォーマンスの発揮を支援する各種仕組みなどにより、社員の個性とチャレンジを尊重し、能力と創造性を発揮して、自己実現を図ることができる風土づくりを推進しています。さらに、社員の優れた成果を称える社内表彰やスキルアップのための教育支援制度など、様々な形で社員のモチベーション向上と成長につながる制度を設けています。

人事制度

エンタテインメントコンテンツ事業では、社員の長期的なキャリア形成とプロ意識の向上のため、複線型人事制度を導入し、組織を率いていく「マネジメント職」と知識や技術を活かしていく「プロフェッショナル職」のコース選択を可能にしています。また、人事制度の適切な運用に不可欠である公正な評価の実現のため、管理職に対し評価者研修を実施しています。

そのほかにも社内表彰など、社員一人ひとりがその力を存分に発揮し、何ごとにも挑戦しようとする自律した企業風土づくりに努めています。

遊技機事業では、社員全員がプロ意識を持ちチャレンジし続けるために、自己選択型の制度を整備し、「マネジメントコース」と「プロフェッショナルコース」を設けて専門性の確立と役割の明確化を図っています。社員一人ひとりに求められる役割を明確化し、成果貢献に応じた適正な処遇を行い、社員のやる気と成果に報いることでパフォーマンスを最大限に引き出すことを目指しています。社内表彰制度も設けており、2015年度の会長賞・社長賞は5案件38名が表彰されました。

将来的にチャレンジしたい仕事を申告できる自己申告制度の設置など、社員の育成とチャレンジ意欲を支援し、より適切な人財配置に役立てるとともに、すべての社員を対象に上司から評価のフィードバックを受ける面談を個別に年2回実施するなど、公正な評価の実現に努めています。

また、数年に一度、社員満足度調査を実施しており、2015年度は社員の93%から回答を得ました。調査の結果では、「この会社の一員であることに誇りをもっている」と回答した社員は85.2%となっており、今後も社員がいきいきと働ける環境づくりを進めていきます。

教育・研修制度

エンタテインメントコンテンツ事業では、全社員共通の教育施策と、階層や職種、各部門の特性を反映した教育施策を組み合わせ、社員の能力開発とキャリア開発を推進しています。全社員に向けては、「eラーニング ライブラリ」システムを導入し、基礎的なスキル習得の場を提供しています。管理職層には評価者研修を行い、マネジメント力の強化を進めており、新入社員に対しては、約1ヶ月間の全社研修を充実させています。なお、それぞれの研修後にはアンケートを実施し、フォローアップと施策の改善に活用しています。

また、2014年度より新入社員一人ひとりに専任のコーチをつける「コーチング体制」を導入し、職場全体での新入社員の育成支援、コーチ経験による若手社員の育成強化も図っています。教育機会に対し主体性を発揮し成果を上げている社員には、さらなる教育支援も行っています。

遊技機事業では、「一人前としての能力を習得するまで、組織が責任を持って育成する」という人財マネジメントポリシーに基づき、階層や等級ごとに細分化した研修プログラムを整備し、能力開発の機会を提供しています。新入社員研修については、2014年度から期間を延長しました。4月はこれまでと同様ですが、5～7月の3ヶ月間はバリューチェーン研修として、各部門の仕事内容（お客さまに製品が届くまで）の概要を理解できるような研修内容としています。これにより、8月以降に配属された部署で各部門や組織の役割を認識した上での仕事の進め方の習得や、組織を跨いだコミュニケーションの向上をはじめ、様々な副次的な効果を狙っています。

● 階層別教育研修体系（遊技機事業）

階層	対象	研修内容	期間
新任管理職	新任管理職	新任管理職研修(マネジメントスキル・労務管理・メンタルヘルス・評価)	4日
管理職候補	管理職候補	次世代リーダー育成研修(業務遂行力、課題解決能力強化)	2日
リーダー	リーダー1年目～	キャリア研修(自己の棚卸・強みの再確認)	1日
		リーダーシップ啓発研修(対人影響力強化)	2日
中堅社員	中堅3年目～	キャリア研修(自己の棚卸・強みの再確認)	1日
		ロジカルシンキング研修(課題解決、対人折衝力強化)	2日
	中堅1年目	後輩指導力向上研修(傾聴力強化、指導方法学習)	3日
新入社員	入社3年目	プレゼンテーション研修(プレゼン技法、説得力強化)	3日
	入社1年後	新人フォロー研修	3日
	入社時	新入社員研修・バリューチェーン研修	4ヶ月

多様性の推進

基本的な考え方

セガサミーグループでは、「グループ行動規範」や「グループ・マネジメントポリシー(人財に関する方針)」に基づき、社員一人ひとりの個性とチャレンジを尊重し、個人の生活と仕事の調和に配慮したワークライフバランスなど柔軟な働き方を整備するとともに、多様化が急激に進むエンタテインメント業界の変化に対応するため、年齢や経験、性別、人種を越えた多様な人財の採用・登用を進めています。

各事業の取り組み

エンタテインメントコンテンツ事業では、性別・国籍などの区分けの無い採用を実施し、入社後には導入研修を行いスムーズな配属を支援しています。正社員においては、入社3ヶ月経過時点で勤務評定・人事面談を行い、配属先でのフォローに活用するほか、以降の採用の参考としています。

遊技機事業では、2014年度をキャリア開発施策元年として、具体的に「ジョブローテーション」「最適配置」「多様なキャリア形成の支援」「自己申告制度」を4つの柱として施策を実行し、社員の多様性、社員一人ひとりの力量アップ、社員が成長する基盤の構築を進めています。また、2015年度はセガサミーグループのさらなるグローバル化を見据えた語学研修プログラムの導入を行いました。このほか、50代の社員を対象に、長期的なキャリア開発を目指した研修を実施しました。今後は対象を30代、40代にも拡大し、年代別にキャリア形成を支援していきます。

女性活躍推進

女性が十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備して企業の成長につなげるため、行動計画を策定して目標達成に向けて取り組んでいます。

エンタテインメントコンテンツ事業のセガホールディングス、セガゲームス、セガ・インタラクティブでは、2016年から2020年までの4年間を計画期間として、新卒採用における応募者の女性割合を30%以上とする目標を掲げ、性別にとらわれない公正な選考に向けたガイドラインの策定や、大学などと連携した女子学生向けセミナーを実施していきます。また、社員の育児休業後の復職定着率100%の実現を目標とし、休業中の方への情報提供などに取り組んでいきます。

遊技機事業では、2016年から2018年までの2年間で、育児休業中の社員を対象とした能力アップ支援を100%実施することを目標に掲げています。育児休業取得者のキャリアブランクをなくすため、休業中の能力開発やキャリア形成の施策を実施していきます。

障がい者雇用や定年退職者の再雇用制度

セガサミーグループ主要16社の平均障がい者雇用率は2016年3月時点で1.95%でした。遊技機事業では年2回公共職業安定所など主催の合同面接会に参加し、積極的な採用活動を推進、2016年3月末時点で法定雇用率を達成しています。

エンタテインメントコンテンツ事業では、障がいを持つ社員が能力を発揮するための職業環境整備や、障がい者職業生活相談員による定期面談などを実施しています。また、「高齢者雇用安定法」改正に伴い、遊技機事業並びにエンタテインメントコンテンツ事業で2006年の制度導入以降、希望者全員を定年退職後、最長5年間再雇用しています。

働きやすい職場環境の整備

基本的な考え方

セガサミーグループでは、異なるライフスタイルや家庭状況など多様な背景を持つ社員の能力を最大限に発揮させるため、各社でワークライフバランスを推進しています。

ワークライフバランスの推進

エンタテインメントコンテンツ事業では、長時間労働の削減や有給休暇の取得促進に取り組んでいます。また、仕事と育児の両立支援の一環として、育児相談窓口や掲示板「子育て広場」を設置し、情報交換の場を提供しています。このほか毎年度付与されるポイントで様々なサービスを利用できる「セガマイレージ制度」やセガサミーグループ保養所、財形貯蓄制度など、福利厚生制度の充実を図っています。

遊技機事業では、次世代育成支援対策推進法に基づき、育児・介護に関して法定以上の制度を定めています。看護・介護休暇の取得に関しては、エリア限定職の社員を対象に半日単位で取得可能としています。また、有給休暇取得促進に関する制度（リラックスホリデー）を導入するなど、労働時間短縮に向けた取り組みも推進しています。

遊技機事業では、次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主として認定も受けており、今後さらに働きやすい職場環境の整備に努めていきます。

サミー川越工場が「多様な働き方実践企業」認定を受けました

埼玉県では、女性の力で埼玉経済を元気にする「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」が進められており、その一環として、「多様な働き方実践企業」の認定制度が実施されています。この制度は、仕事と子育てなどの両立を支援するため、様々な取り組みを行っている企業などを県が認定するものです。

サミー川越工場は2015年6月1日付で「ゴールド認定^{*}」を受けました。

^{*} 認定要件6項目のうち、要件を満たす項目数によって「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」に区分されます。



労働安全への取り組み

遊技機事業並びにエンタテインメントコンテンツ事業では、社員の健康と安全を守るため、安全衛生委員会を毎月開催しています。また、現場で事故が発生した場合には、直ちに原因追究をするとともに、改善を行い再発防止に努めています。

遊技機事業では、現場で発生する事故に対して、常に予防または改善することを徹底し事故件数をゼロにするため、社員自らが身のまわりにひそむ危険要因をチェックし、都度改善する「6S^{*}パトロール」活動を行うなど、社員の健康と安全を守ることに力を注いでいます。また、営業担当者は自動車の安全運転を心がけており、無事故無違反期間が1年以上の場合に取得できるSD (Safe Driver) カードを一年に一回取得しています。

^{*} 6S：整理・整頓・清掃・清潔・躰・セーフティー。

健康管理

エンタテインメントコンテンツ事業では、定期健康診断や人間ドック受診料補助、外部専門相談窓口（社員の家族も利用可）の設置、産業保健スタッフが常駐し、内科・精神科医、保健師、看護師への相談が可能な健康管理センターの設置などの支援体制を整えています。安全配慮の観点から会社独自の基準を設け、健康管理面談も拡充しています。また、月例の安全衛生委員会の議事録や各種関連情報を社内WEBサイトに掲載し、社員への周知に努めています。

遊技機事業では、健康管理の一環として、ストレスに対するセルフチェック機能向上のためWEBツールを活用する一方、新任管理職を対象にメンタルヘルスマネジメント研修を実施しています。長時間労働者に対しては、問診票配布、産業医面談を行うほか、所属長への労働時間削減への取り組みを促すことの徹底、休暇取得促進などを実施しています。勤務中いつでも産業医・看護師に相談できる体制も整備しているほか、タブレット端末を通じて産業医・看護師と面談できるシステムを導入するなど、遠隔地の事業所もきめこまかくフォローしています。

労使関係

エンタテインメントコンテンツ事業では、「JAMセガ労働組合」「全日本金属情報機器労働組合東京地方本部大田地域支部セガグループ分会」が、またリゾート事業において「シーガイアユニオン」が労働組合として結成されています。労使相互で定期的な協議を行い、健全で良好な関係を構築しています。労働組合が結成されていない会社においても良好な労使関係を維持しています。組合加入資格のある従業員数2,458人に対する組合員数は855名で、2015年度に開催されたフェニックスリゾート、セガ エンタテインメント、セガ・ロジスティクスサービスの3社合算の協議・交渉の回数は、36回でした。

人事・労務に関するデータ

対象範囲

- 2013年度：計9社、2014年度：計10社、2015年度：16社
- セガサミーホールディングス、サミー、サミーネットワークス、セガ・インタラクティブ、セガ エンタテインメント、セガゲームス、セガトイズ、セガホールディングス、セガ・ライブクリエイション、セガ・ロジスティクスサービス、タイヨーエレクト、ダーツライブ、トムス・エンタテインメント、日本マルチメディアサービス、フェニックスリゾート、マーザ・アニメーションプラネット

※ これらのデータの連結の正規雇用人数に対するカバー率は約7割です。

● 社員構成

	2015		
	合計	男性	女性
社員数(名)	7,053	5,396	1,657
正規雇用	5,281	4,405	876
非正規雇用	1,772	991	781
外国籍	89	61	28
平均年齢(歳)	38.4	39.1	35.8
平均勤続年数(年)	10.9	11.3	8.8

● 海外子会社の状況

	2014	2015
海外赴任者数(名)	32	47
海外子会社役員数(名)*	145	149
日本からの派遣(名)	99	105
現地人材(名)	46	44

※ 取締役および執行役員

● 管理職・役員構成

	2013	2014	2015
女性管理職者数(名)	41	59	56
女性管理職比率(%)	4.6	5.7	5.4

2015年度の内訳

	合計	課長職級	部長職級	執行役員級
役職者別人数(名)	1,043	694	285	64
男性	987	651	273	63
女性	56	43	12	1
女性比率(%)	5.4	6.2	4.2	1.6

● 採用

	2013			2014			2015		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
新卒採用者数(名)	111	80	31	144	102	42	95	62	33
中途採用者数(名)	126	104	22	288	221	67	200	159	41
定年後再雇用者数(名)	—	—	—	31	28	3	19	18	1

● 障がい者雇用

	2013	2014	2015
雇用人数(名)	124	156	173
雇用率(%)	1.7	1.8	1.95

● 両立支援制度利用実績

	2013			2014			2015		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
産前・産後休業取得者数(名)	—	—	—	59	—	59	59	—	59
育児休業取得者数(名)	65	4	61	83	9	74	77	6	71
育児休業復職者数(名)	—	—	—	72	9	63	53	5	48
育児休業復職率(%)	—	—	—	100	97.9	—	100	88.9	—

2015年度の男性の育児休業取得期間別取得人数

	合計	1週間以内	1週間～1ヶ月	1ヶ月以上
取得者数(名)	6	3	0	3

● ワークライフバランス

	2013	2014	2015
月平均時間外労働時間(時間)	—	18.7	17.3
有給休暇取得日数(日)	—	8.5	8.2
有給休暇取得率(%)	45.3	47.0	45.6
ボランティア休暇のべ取得人数(名)	51	40	35
ボランティア休暇のべ取得日数(日)	—	108	74

● 労働安全衛生

	2013	2014	2015
労働災害発生件数(件)	108	71	90
休業災害	—	4	6
不休災害	—	67	84
労働災害度数率	—	0.5	0.6

※ 2013、2014は通勤時の労働災害を含む。2015は就業時のみのデータ

● 両立支援制度の例

育児

制度	法定	会社	各社の制度
育児休業制度	子が1歳到達まで	エンタテインメントコンテンツ事業／遊技機事業	・最長1歳6ヶ月から2歳6ヶ月までの範囲で
短時間勤務	3歳まで	エンタテインメントコンテンツ事業	・小学就学まで最長2時間/日 ・小学3年生まで退勤時間を最長1時間短縮可
		遊技機事業	・小学就学まで最長2時間/日 ・小学3年生まで最長1時間/日

介護

制度	法定	会社	各社の制度
介護休暇制度	93日まで	エンタテインメントコンテンツ事業／遊技機事業	・93営業日/名(介護短縮時間勤務含む)
介護短時間勤務	93日まで	エンタテインメントコンテンツ事業	・93営業日内で最長2時間/日
		遊技機事業	・93営業日内で最長2時間/日
介護休暇	93日まで	エンタテインメントコンテンツ事業／遊技機事業	・年間5日/名(保存有休の充当可)

05

社会とともに【環境】

CSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

セガサミーグループのアプローチ

温暖化、天然資源枯渇、廃棄物による汚染といった地球環境問題はますます深刻さを増しており、環境課題への対応は、すべての企業、個人が取り組むべき最優先事項となっています。セガサミーグループは、「社会の持続的発展」に向けて、環境に関する法令・規制を遵守することはもちろんのこと、省エネやリサイクル、消耗品使用の削減など環境に調和した事業活動に努めるなど環境にプラスになることを積み上げていきます。

2015年度の主な取り組み

1. 環境経営の推進：負荷防止・低減活動および主要な事業所や施設の環境基礎データの集計・把握・評価
2. 製品開発・設計における取り組み：環境配慮設計、サプライヤーへの化学物質適正管理の要請
パチンコ、パチスロに関しては鉛フリー100%を継続
3. 生産・輸送段階における取り組み：廃棄物のリサイクルや適正処理、容器包装の削減推進
4. 廃棄段階における取り組み：遊技機の下取り機リサイクル率97.28%（2014年度：97.24%）、
アミューズメント機は手分解による100%リサイクルを継続
5. 「黒松の森宣言」（宮崎県）、「セガの森」（長野県）における森づくり活動を継続

VOICE

フェニックス・シーガイア・リゾートの 省エネルギー対策の要。

フェニックス・シーガイア・リゾート（以下PSR）は、事業運営上多くのエネルギーを消費するため、省エネルギー法により省エネの推進などが義務づけられています。旗振り役となるエネルギー管理士3名、エネルギー管理員8名の有資格者を中心に、実際の活動を通じた「省エネ意識の高い社員（ヒト）の育成」に努めています。一例として、各事業所が定期的に行う「省エネパトロール」では、支配人・セクションマネージャーを含む全スタッフが参加して改善策を模索することで、省エネ意識向上にもつなげています。

また、2015年度からの大規模修繕工事・改装工事では、LED照明や高効率機器への更新など「モノ」による省エネ化が図られ、「ヒト」との相乗効果により、一層の省エネ化が進んでいます。

PSRは、これまでの着実な省エネ実績が評価され、事業者クラス分け制度*のSランク事業者として経済産業省より公表されています。

* 経済産業省では、省エネ法への取り組みを促すことを目的で、すべての定期報告事業者をS・A・B・Cの4段階にクラス分けする「事業者クラス分け制度」を2016年度から開始。

フェニックスリゾート株式会社 エンジニアリング部

黒木 隆幸

1994年に入社後、2003年よりエネルギーセンター勤務。
主にエネルギー法の対応業務を担当。

01

お客さまとともに

02

お取引先とともに

03

株主・投資家とともに

04

社員とともに

05

社会とともに【環境】

06

社会とともに【社会貢献】

環境経営の推進

グループ環境マネジメント体制

セガサミーグループは、製品の製造から施設の運営まで多岐にわたる事業を展開しており、環境負荷を低減するためには、まず事業活動全体の環境影響を把握する必要があると考えています。そこで、主要な事業所や施設の環境基礎データを集計・把握し、環境負荷の推移を評価しています。今後も、照明や空調などの効率的な使用をはじめ、省エネ設備への切り替えなどを積極的に進めることで、電力使用量の削減に努めていきます。

グループの環境法令遵守の状況

セガサミーグループでは、環境関連法規はもとより、各事業会社が同意した業界団体などの指針を遵守し、環境汚染の防止に努めています。なお、2015年度は、環境関連法規違反および環境を汚染する事故はありませんでした。

製品開発・設計における取り組み

製品の環境配慮設計

エンタテインメントコンテンツ事業では、メダルゲーム機の新製品「バベルのメダルタワー」において、従来製品「アラビアンジュエル」の消費電力と比較して55%削減するなど、省電力化への取り組みを継続しています。

遊技機事業においては、設計・開発段階から部品や基板の共通化を念頭に置き、開発を進めているほか、故障しにくい遊技機の設計・開発を推進し、保守部品を削減することで余計な生産をしないように努めています。

さらに、遊技機内の部品をリユースし、部品によっては再利用できる構造に設計しています。2015年度時点でのリユース率は20%となっており、今後もリユース率を高めていく計画です。これらの取り組みを通じて、省エネや貴重な資源の有効活用、廃棄物の削減に努めています。

また、遊技機の消費電力抑制のため引き続き、エコ機能を搭載した遊技機や非可動役物筐体の提供により2014年度に比べて消費電力の5%削減につなげています。このほか、パチンコ、パチスロにおいて鉛フリーはんだ部品使用率100%を達成しています。日本遊技機工業組合や日本電動式遊技機工業協同組合が業界レベルで環境負荷物質の使用状況の把握と低減をしようとする試みにも毎年参加し、情報を共有しています。



バベルのメダルタワー
©SEGA

化学物質の適正管理

エンタテインメントコンテンツ事業のセガ・インタラクティブでは、「セガ機器・製品化学物質管理基準」に基づき、すべてのサプライヤーに対して「製品含有化学物質管理体制」の構築と運用のご協力を要請しています。サプライヤーには年1回、含有化学物質管理体制の自己監査の結果を報告いただくこととしており、自己監査用チェックシートは、回答することで達成状況を自己評価できる内容になっています。また定期的にサプライヤーの製造拠点を訪問し、体制の構築状況や運用状況を確認し、化学物質の適正管理に努めています。

生産・輸送・廃棄段階における取り組み

生産・輸送段階の取り組み

遊技機事業では、生産工程で発生する廃棄物のリサイクルや適正処理などに積極的に取り組むほか、部材並びにユニット品輸送時の通い箱の利用で、容器包装の削減に努めています。また、2012年9月に新工場の隣接地に新たな流通センターを設けたことで、散在していた部品保管倉庫機能を集約でき、輸送にかかわるエネルギーの削減につながっています。

アミューズメント機器のリサイクル

アミューズメント機器は、現行製品の部品を新製品へリユース可能な設計にし、廃棄物抑制に努めています。また、整備・点検手順をマニュアル化して店舗で共有し、製品の長寿命化につなげています。アミューズメント施設では、日常整備の徹底などで機器の長寿命化を図るとともに、廃棄機器についてはセガ・ロジスティクスサービス(以下SLS)で手分解し、100%リサイクルしています。SLSでは敷地内に産業廃棄物中間処理業者を招致し、処理コスト低減と不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開し、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」を達成しています。

その他の環境保全活動

オフィスにおける環境保全活動

グループ各社で通年実施している省エネ・省資源活動に加え、新型複合機への入れ替え、ネットワークの完全無線LAN化などの施策導入により、エネルギー使用量や紙資源の削減、業務の効率化と社員の環境保全意識向上にもつながりました。今後も各種システム導入の効果を調査し、さらなる改善を図っていきます。

グリーン電力証書システムの導入

2005年度より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書(マイクロ水力、バイオマス)」を購入しています。さらに、横浜市神奈川区に設置の風力発電機(ハマウィング)を中心に行われる横浜市風力発電事業に賛同し、2007年4月より、「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」として協賛しています。2015年度の実績は79,152kWhです。

 **日本自然エネルギー株式会社**
<http://www.natural-e.co.jp/>

日本自然エネルギー株式会社が風力・バイオマス・小水力などによるグリーン電力(自然エネルギー)の利用を証するマーク



みんなで創ろうツツ葉の森林

「黒松の森宣言」を策定し、黒松林の環境保全活動に取り組んでいるフェニックス・シーガイア・リゾート(以下PSR)では、宮崎森林管理署主催「森づくり祭」に参加しています。2015年3月に、国有林でもあるツツ葉海岸(宮崎市佐土原町周辺)を「みんなで創ろうツツ葉の森林」のテーマのもと、黒松の育樹作業を実施しました。地元行政や住民の皆さま、林業関係者など約200名が参加する中、PSRも15名参加し地域一体の活動に発展しています。過去に植樹した黒松の成長を実感しながら、今後も地域に根付いた森づくり活動を継続していきます。



「森づくり祭」に参加する社員と地元の方々

セガの森

CO₂の間接排出源となる電気を使用することが事業全体の前提となっているエンタテインメントコンテンツ事業では、この影響を事業活動の中で抑制するとともに、事業外スキームを活用したオフセットにより地球環境保護へ取り組んでいます。その活動の一つとして、2008年4月より10年契約で長野県南佐久郡南相木村と「森林の里親契約」を締結し、その対象となる民有林約3,633ヘクタール(東京ドーム約773個に相当)を「セガの森」と名付け、環境保全活動を展開しています。

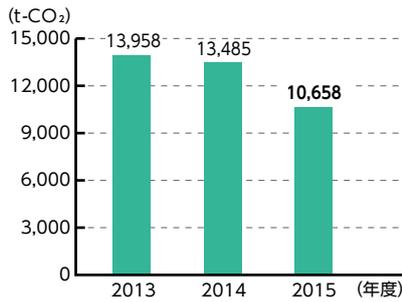
「セガの森」の整備による2015年度CO₂吸収量1,405.4t-CO₂は、平均的なアミューズメント施設1店舗のCO₂間接排出量の4年分相当をオフセットする規模です。また、地元の方々のご協力のもと、社員の地球環境保護に対する意識醸成の場としても活用しています。



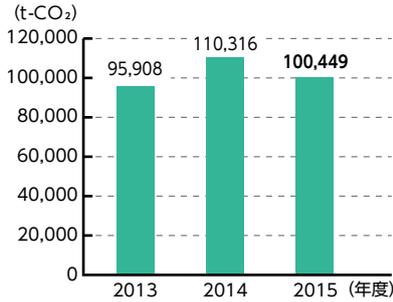
2015年「森林CO₂吸収量認定書」

環境に関するデータ

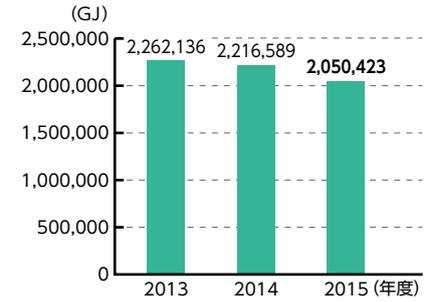
● CO₂排出量(スコープ1)



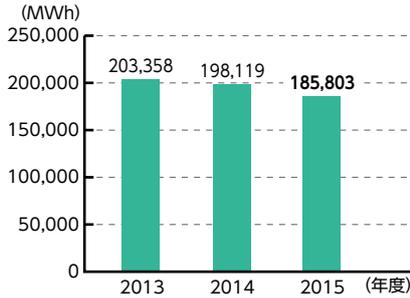
● CO₂排出量(スコープ2)



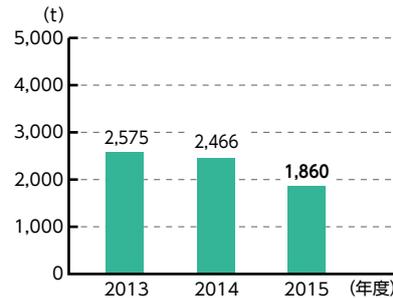
● 総エネルギー投入量



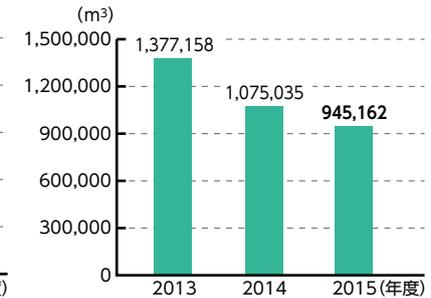
● 電力使用量



● 産業廃棄物排出量



● 水使用量



- ・集計データの一部に床面積による推計値を含みます。
- ・CO₂総排出量の減少は、燃料使用量および電気使用量の削減が主要因です。
- ・購入電力のCO₂排出係数：各報告年度の前年度の電気事業者別の調整後排出係数を使用しています。

● 対象範囲(組織)

オフィス*	セガサミーホールディングス、サミー、サミーネットワークス、セガ・インタラクティブ、セガ エンタテインメント、セガゲームス、セガトイズ、セガホールディングス、セガ・ライブクリエイション、セガ・ロジスティクスサービス、タイヨーエレクト、ダーツライブ、トムス・エンタテインメント、日本マルチメディアサービス、フェニックスリゾート、マーザ・アニメーションプラネット
エンタテインメントコンテンツ事業	サミーネットワークス、セガ・インタラクティブ、セガ エンタテインメント、セガゲームス、セガトイズ、セガホールディングス、セガ・ロジスティクスサービス、トムス・エンタテインメント、ダーツライブ、マーザ・アニメーションプラネット
リゾート事業	セガ・ライブクリエイション、フェニックスリゾート
遊技機事業	サミー、タイヨーエレクト、日本マルチメディアサービス

※ 水使用量に限り、オフィスのうち賃貸物件人員50名未満の事務所は、2013年度より集計対象から除外しています。

● サミー川越工場における環境配慮の状況

		2013年度 ^{※3}	2014年度	2015年度	備考
遊技機のリサイクル率の推移	リサイクル率	96.58%	97.24%	97.28%	パチンコ・パチスロ合算
環境配慮素材の利用	木材使用量	2,055t	1,344t	1,077t	
	うちPEFC認証木材 ^{※1}	134t(6.5%)	66t(4.9%)	45t(4.2%)	
	接着剤使用量 ^{※2}	—	—	—	お取引先では0.21t使用 ^{※4}
	うち水系接着剤	—	—	—	お取引先では0.21t使用 ^{※4}

※1 PEFC認証木材：PEFC森林認証プログラム(Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes)による認証木材。第三者機関より持続可能な森林管理の認証を受けた森林より適切に調達された木材。PEFC認証木材が使用できる製品の生産量が減少したことにより、使用量が減少しました。

※2 2013年度より接着された状態での部材の調達に切り替えました。部材の調達においては、環境負荷の少ない水系接着剤を100%使用しています。

※3 精度向上のため、数値を遡及して修正しています。

※4 昨年まで、川越工場では使用していないため、使用量は無しと報告しています。

06

社会とともに【社会貢献】

CSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

セガサミーグループのアプローチ

セガサミーグループは、良き「企業市民」として社会に貢献する必要性を強く認識しています。本業のエンタテインメントを通じて豊かな社会の創出に貢献していくことはもとより、グループ各社、各事業所などにおいて、地域社会の皆さまと積極的に対話しながら、社会への貢献を進めていきます。また、こうした活動を通じて、社員一人ひとりの成長とグループとして強くなるためのベクトル合わせにもつなげていきます。

2015年度の主な取り組み

1. 地域活動：「子ども神輿協力」「小江戸川越ハーフマラソン協賛」「『パンダコパンダ』の玩具寄贈」「佐倉モノづくりFesta2016 出展」などの地域のための支援活動を実施
2. 社会支援：「絵本を届ける運動」「ショールーム開放」「パラノルディックスキー日本チームの継続的支援」「玩具の寄贈と玩具除菌」などの社会貢献を実施
3. スポーツ・芸術・文化支援：「東京 JAZZ 協賛」「学童軟式野球大会協力」「社会人野球、野球教室」開催などで各分野の支援活動を実施、「ジュニアスポーツフェスティバル」開催

VOICE

“世界をより良い場所にする”
それが個人の、そして仕事上のゴール。

War Childは私が20年近く携わってきた団体で、その発足は当時東ヨーロッパで起きたバルカン戦争で傷ついた子どもたちの心を音楽の力で癒したことが始まりです。最初はバンドを結成してリリースしたアルバムやコンサートの売り上げを寄付していましたが、セガへ入社するにあたりPCゲームの売上を寄付する仕組みを考えました。

私たちは、仕事、家、食べものや水があるという状況が、いかに恵まれていることなのかを認識する必要があります。世界には自分の意志に関係なく、これらに恵まれない生活を送る人びとが大勢います。ゲームを通して感動体験を届ける、慈善活動をする、ゲームユーザーと直接対話する、フットボール関連知識を広めるなど、世界にプラスになることをする努力を続けることが、私たちの使命だと思います。創るゲームが良質で面白ければ、人びとは幸せになり、社会もよくなります。世界をより良い場所にする、これは個人のゴールでもあり仕事上のゴールです。

Sports Interactive Ltd.
Studio Director

Miles Jacobson(マイルズ・ジェイコブソン)

(株)セガゲームス子会社であるSports Interactive Ltd. (本社：英国ロンドン)のManaging Directorに1999年就任。以降、シリーズ1,000万本の売り上げのある同社のゲーム「Football Manager」の開発を担当。個人と業界人として多くのチャリティ活動*に携わった功績により、今年の英国メディアMCVが選ぶ「Person of the Year」を受賞した。

* 2005年から「Football Manager」の販売1本につき10ペンスの寄付をWar Childへ贈り始め、寄付総額は100万ポンド(約1.4億円)。このほかGamesAid(英国ゲーム業界で働く人の慈善団体)やSpecial effect(障がいを持った人がゲームを楽しめるように働きかける団体)でも経年により、精力的に活動。

地域活動

地域の皆さまとの交流

エンタテインメントコンテンツ事業では、毎年7月に行われる羽田神社夏季例大祭へ寄付を行うとともに、「子ども神輿」の休憩所を事業所内に設け、飲料を提供しています。また、町内会主導で行われる月例のごみ拾い「街並み清掃活動」へも積極的に参加しています。様々な場面で今後も地域の皆さまとの交流を続けていきます。



「子ども神輿」をかつぎ終った子どもたち

「小江戸川越ハーフマラソン」2015への特別協賛

遊技機事業では、川越工場の地元で毎年開催される「小江戸川越ハーフマラソン」に特別協賛しています。2015年11月の大会は天候にも恵まれ、8,710名のランナーが出場しました。サミーおよびグループ社員・お取引先からは93名がランナーとして大会に参加しました。セガサミー応援団「ルーターズ」によるエールや地元中学校の吹奏楽部の軽快な演奏など、県内外から参加したボランティアが一丸となって大会を盛り上げました。



「小江戸川越ハーフマラソン」

「あそんでまなべる パンダコパンダおしゃべり絵本」など玩具を寄贈

トムス・エンタテインメントは、地域貢献の一環として本社のある中野区と「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント」が開催される北海道千歳市に『あそんでまなべる パンダコパンダおしゃべり絵本』などの玩具を寄贈しました。中野区長 田中大輔氏から「幼稚園・保育園にパンダコパンダ玩具を寄贈いただきありがとうございました。中野区は大学などの進出もあり、大きく変わってきています。区の活性化のためにアニメを活用したイベントを開催するなど、ぜひトムスさんと連携を図り楽しい街づくりができたと思います。」とのお話をいただきました。また、千歳市へ寄贈した玩具は、千歳市内の児童館・子育て支援センター・幼稚園などの児童関連施設で活用されます。



左：TMS 岡山に取締役、
右：中野区長 田中大輔氏

「佐倉市産業まつり 佐倉モノづくりFesta2016」へ出展

セガ・ロジスティクスサービスでは、事業所がある千葉県佐倉市が主催する「佐倉モノづくりFesta」に地域貢献の一環として参加しています。最新のUFOキャッチャーを出展し、大勢の来場者に喜んでいただきました。これからも地域社会の一員として活動していきます。



出展ブースの様子

八王子市内の保育園、児童養護施設にクリスマスプレゼントを届ける

セガサミー野球部は、2010年より地域貢献活動の一環として、活動拠点のある八王子市内の児童養護施設を訪れ、クリスマス会を開いています。2015年には、グループ会社のトムス・エンタテインメントと協同で、『パンダコパンダ』の玩具を市内81ヶ所の保育園にプレゼントし、児童と交流しました。

こうした取り組みが、児童福祉を推進した功績として認められ、2016年3月には八王子市社会福祉協議会から感謝状をいただきました。セガサミー野球部は、これからも地域に根差したチームを目指して、各種貢献活動に取り組んでいきます。



2015年クリスマス。サンタクロースやトナカイに扮し、保育園にプレゼントを届けた選手

社会支援

絵本を届ける運動

国際貢献活動として、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会*の「絵本を届ける運動」に賛同し、グループ社員から不要な古本などを回収したお金で絵本を購入、現地語訳のシールを貼って現地へ送る活動を行っています。8年目の2015年度は、グループ企業19社の社員が参加し、セガサミーグループが送った絵本の総数は1,028冊になりました。

* シャンティ国際ボランティア会「絵本を届ける運動」：貧困や内戦によって不安と悲しみを抱える子どもたちの安らぎ、楽しみとなることを祈って、子ども向けの図書がほとんど出版されていないカンボジア、ラオス、ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタンへ、現地語訳のシールを貼った日本の絵本を届ける活動。



現地語シールを絵本に貼る役員

地域の高齢者の方をショールームにご招待

現在5つの高齢者施設から月2回のペースで参加者にお越しいただき、当社の遊技機を楽しんでいただいています。この活動は社員からの発案で2006年6月27日に始まり、本社における活動としては2015年6月で通算200回、今年でちょうど10年となりました。たくさんの「楽しかった」「ありがとう」のために、そして招く側である当社の社員にとってもエンタテインメントの社会的価値を再認識できる機会として、今後も継続していきます。



地域の高齢者を大勢招いたショールーム

パラノルディックスキー日本チームの継続的支援

セガサミーグループは、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟のメンバーを母体とするパラノルディックスキー日本チームを継続的に支援しています。同連盟は、障がい者およびその関係者がクロスカントリースキーやバイアスロンに親しみ、競技力の向上と同競技の振興と普及を図ることを目的とする組織です。「障害のある方たちに、クロスカントリースキーやバイアスロンの楽しさを知っていただき、健康な体づくりを目指してほしい。パラリンピックなどを目指す障害のある青少年に夢を与えたい。」という思いで活動する同チームにこれからも声援と支援を続けます。



パラノルディックスキー日本チーム

NPOとの協働による玩具の寄贈と玩具除菌活動

「本業を活用し少しでも社会課題の解決に」と考え、当社グループ内事業会社のおもちゃや子ども用グッズをNPOに寄贈しています。2009年度より毎年継続実施し7回目を迎えたこの取り組みは当社グループが、認定特定非営利法人日本NPOセンターとともに非営利団体を選定し寄贈しています。2015年度は、小児がんや小児の難病治療の家族の滞在支援をする認定NPO法人ファミリーハウスさまへ、セガトイズとトムス・エンタテインメントの商品、約2,000点を寄贈しました。

また、当社グループの社員が宿泊施設を定期的に訪問し、一般のボランティアの方々と一緒に玩具やぬいぐるみの除菌・修繕作業を行っています。



玩具やぬいぐるみの除菌・修繕作業の様子

01

お客さまとともに

02

お取引先とともに

03

株主・投資家とともに

04

社員とともに

05

社会とともに【環境】

06

社会とともに【社会貢献】

スポーツ・芸能・文化支援

「TOKYO JAZZ FESTIVAL」への特別協賛

セガサミーグループは、世界中から一流のジャズアーティストが一堂に会する国内最大級のイベント、東京ジャズフェスティバルへの協賛を毎年度継続しています。「新しい文化の発信」「ジャズの継承と発展」「文化のクロスオーバー」というコンセプトのもと、トップアーティストがパフォーマンスを繰り広げます。第15回を迎える2016年度も引き続き協賛することで、国境や世代の垣根を越えて聴くものを魅了し、感動させるジャズ。音楽の力を通じて、これからも文化の発展に寄与し続けます。



©14th TOKYO JAZZ FESTIVAL
©岡利恵子 / ©Rieko Oka

TOKYO JAZZ Festival@東京国際フォーラム

「セガサミーカップ学童軟式野球大会」

セガサミーグループは、東京都学童野球のレベルアップという大会の目的に賛同し、「セガサミーカップ学童軟式野球大会」に特別協賛しています。7回目となる「セガサミーカップ学童軟式野球大会」は、2015年11月に八王子市のセガサミー野球場で開催されました。本年度、2016年11月の同大会では、参加チームを増やして16チームで開催する予定です。大会初日にはセガサミー野球部員による野球教室など、楽しみながら野球技術の向上が目指せるプログラムも用意しています。また、大会の組み合わせ抽選日には、選手、コーチ・監督、保護者に向けて「スポーツ栄養学」の講習会も行います。



「セガサミーカップ学童軟式野球大会」開会式

「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフ トーナメント／ジュニアスポーツフェスティバル」

今年9回目となる「ジュニアスポーツフェスティバル」は、5月から7月にかけて開催され、「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント」開催地である千歳市などの協力のもと、小中学生を対象に一流の講師を招いたスポーツ教室を行いました。水泳では、リオ五輪日本代表で札幌出身の小長谷研二氏が、「夢をあきらめず、ひたむきに努力を続ける大切さ」と、「肩甲骨を意識した無駄の無い泳ぎ方」を指導。元サッカー日本代表の吉原宏太氏(現・コンサドーレ札幌ジュニアサッカースクールコーチ)など、計13種類の選手・元アスリートが指導し、1,500名を超える子どもたちに競技の楽しさを伝えました。



子どもたちに上達のコツを教える小長谷選手

VOICE

「強い野球部」そして 「愛される野球部」を目指して

「もう一度、一緒にやらないか」と声をかけていただき、プロ野球チームから3年ぶりにセガサミー野球部に復帰しました。野球部の目標は、「勝つこと。都市対抗野球大会で優勝すること」です。技術的にも体力的にも向上し、勝てるチームにならなければいけません。同時に、企業に属している以上、社員や地域の方々に応援してもらえるチームであることも重要です。地域の子どものための児童養護施設慰問や野球教室開催、セガサミー野球場への招待、時には町や会社のイベントに積極的に参加して、名前や顔を覚えてもらうことも大事です。「強さ」と「愛される」チームを目指して頑張りますので、引き続き、熱い応援をよろしくお願いします。

セガサミー野球部 株式会社セガ・インタラクティブ
プロダクト業務推進部 赤堀 大智

第三者意見

2015年は9月の国連「持続可能な開発のための2030アジェンダ(SDGs)」と12月COP21での気候変動に関する「パリ協定」の採択で文明の方向性が大きく変わりました。

近代始まって以来の「無限を前提とした進歩・成長」から、CO₂の排出に制限をかけた「有限を前提とした持続可能な発展」への方向性の転換です。鉱物資源の枯渇と相まって、無限の物質的豊かさの追求はもはや不可能であり、有限な飽和した世界での心の豊かさの追求への転換と言い換えても良いと考えます。

その意味で、「夢と感動を与えるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献」という経営理念は新しい方向性とも整合しています。途上国もいずれ追いついてきますのでビジネス機会につながるものと思います。昨年実施された2020年を見据えた構造改革が機能しだしているとお聞きしました。あえていえば2030アジェンダをどうビジネス機会につなげるかの検討も期待しています。

2015年9月、日本の年金基金(GPIF)が国連責任投資原則に署名しESG投資に舵を切り替えました。中長期の成長に向けてESGへの取り組みと対話が求められています。アニュアルレポートのESG情報は限定的なため、CSR Reportでの補完関係をしっかり構築することが必要と考えます。

CSRマネジメントについて体制や教育等々、様々な取り組みは評価できます。ただ、グループが多様化し拡大すると末端での不祥事は防ぎきれない可能性も増します。環境にしっかり取り組まれていることはデータから読み取れますが、2015年版ISO14001(環境マネジメントシステム)はCSRとの親和性も高くサプライチェーン・マネジメントにも使えます。企業体質強化のためのツールとしての活用の検討をお勧めします。

「のめりこみ問題」にも触れられていますが、業界課題として継続的な取り組みを期待します。多彩な社会貢献は社員参加もあり素晴らしいの一語ですが、今後のグローバル化の中では、たとえば「創造性に役立たせる」などの理由や戦略性の検討も必要と考えます。

エンタテインメント業としてお客さま対応を考えれば従業員対策が重要なのは当然で、多様な取り組みが記載されており評価できます。ただ、女性活躍のためには男性の長時間労働撲滅や男性中間管理職の意識変革などが必要ですが、そうした情報もほしいところです。

報告書はガイドラインなども参照し、相当のレベルに達していますが注文もあります。情報量確保のためか、字が小さく読みにくい点があります。これだけの企業規模になりますと、WEB上に様々なデータなどの多くを移してデータ集として編集、PDF版からリンクを張るのも一案です。

社員向けダイジェスト版は従業員の顔が見える優れたものであり、多様な事業活動に横串を刺す役割を担っているものと評価します。



特定非営利活動法人
サステナビリティ日本フォーラム
代表理事
後藤 敏彦氏

第三者意見をいただいて

昨年導入のコーポレートガバナンス・コード対応を通じ、独立諮問委員会の設置、社外取締役3人体制の導入、経営指標および目標の明確化など一層の経営の強化を推進しました。また海外調達における児童労働・強制労働禁止や紛争鉱物調査など、サプライチェーンにおけるCSRの取り組みの推進、情報の開示対象会社の拡大なども行いました。

後藤氏からのご意見のように、構造改革1年目を終え、エンタテインメント業界の激しい変化により迅速に対応することでいくつかの明るい兆しを感じております。また社会貢献として熊本地震における被災地に対し、社員ボランティアによるゲーム機器を持ち込んだイベント、炊き出し、瓦礫撤去などを行いました。なお東日本大震災復興支援活動も継続しており、社員と地域の皆さまとで復興を考えるグループワークなども行いました。

女性活躍にもつながる長時間労働の削減は重要と考えており、役員向けを含めた研修実施など、グループで取り組んでいます。また、社会の要請に応えるべく障がい者雇用促進のための特例子会社を設立し、取り組みを推進しています。

コメントいただいたCSRレポートの「社員向けダイジェスト版」はグループ内で実施しているCSR研修(累計約1,500名に実施)とともにグループのベクトルを合わせるべく力を入れているものです。これら活動を通じ、社員が誇りを持てるグループ、社会から信頼され発展を期待されるグループとなることを目指していきます。



セガサミー
ホールディングス株式会社
執行役員
グループCSR推進室長
石倉 博



セガサミーホールディングス株式会社

グループCSR推進室

〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル21階

TEL: 03-6215-9055

URL: <http://www.segasammy.co.jp>

アニュアルレポートとの関連性

アニュアルレポートでは財務情報を中心に報告し、CSRレポートでは非財務情報を中心に報告しています。CSRレポートに掲載されていない財務情報の詳細については、ホールディングスWEBサイトIRページをご覧ください。

WEB <http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/index.html>

免責事項

本レポートには、セガサミーグループの過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想や発行日時点での経営計画や見通し、将来予測が含まれています。これらの予想・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、ご了承いただきますようお願い申し上げます。



適切に管理された森林からの木材製品であることを証明する、FSC®森林認証紙を使用しています。



だれにも読みやすい、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。